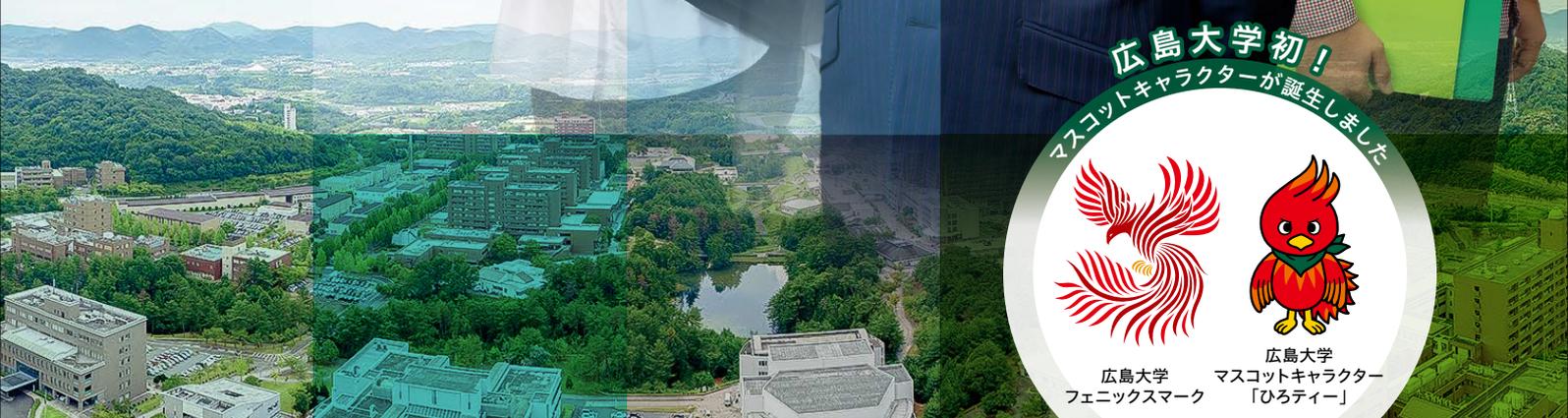




# 広島大学

100年後にも世界で光り輝く大学へ



広島大学初!  
マスコットキャラクターが誕生しました

広島大学 フェニックスマーク  
広島大学 マスコットキャラクター 「ひろでい」  
(商標登録出願中)

# 大学案内

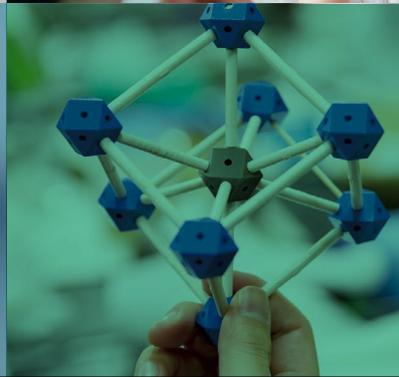
2020-2021





# 100年後にも 世界で光り輝く 大学へ

UNIVERSITY OF WORLD-WIDE REPUTE AND SPLENDOR FOR YEARS INTO THE FUTURE





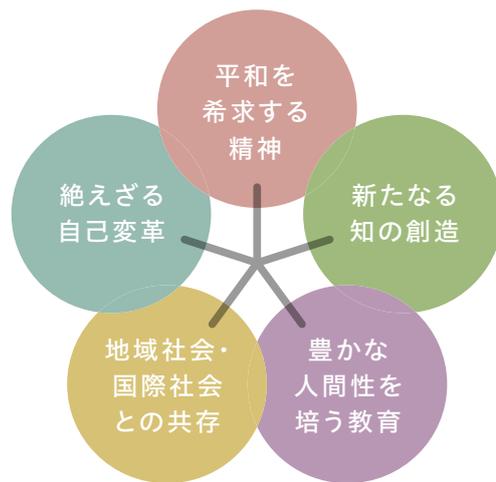
広島大学は原爆投下から4年後の1949年、広島のに「平和の大学」として開学しました。以来、国内有数の総合研究大学として歩みを進め、今日に至っています。2020年には大学院改革をひとまず完了し、人間社会科学、先進理工系科学、統合生命科学、医系科学の4研究科体制がスタートしました。地域を拠点としながら世界へ、広島大学は教育、研究、社会貢献の各分野で、ポスト・コロナ、ウイズ・コロナの新たな地平を拓いていきます。



広島大学長  
越智 光夫

## 広島大学基本理念

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たします。



## CONTENTS

03 広島大学OVERVIEW	20 学生支援
05 特集対談	21 社会連携
09 生まれ変わった大学院	23 財務
11 研究	24 広島大学の講演・講義
研究者	25 キャンパスガイド
15 教育の特色	キャンパスマップ
学部教育・大学院教育	広島大学の諸施設
17 国際交流	29 データ・沿革
19 入試	30 立地・アクセス

### 広島大学フェニックスマーク & マスコットキャラクター「ひろティー」



フェニックスマーク



マスコットキャラクター  
「ひろティー」

(商標登録出願中)

広島大学のシンボル「フェニックス」(不死鳥、ヤシ科の植物)をモチーフとしたフェニックスマークと、マークを親しみやすくキャラクター化した「ひろティー」を制作しました。デザインは国内外で活躍中のイラストレーター、カミガキヒロフミさんが担当しました。

建学の精神「自由で平和な一つの大学」を体現する広島大学。総合研究大学として国内屈指のスケールを誇ります。また、世界各国の大学と大学間国際交流協定を結び、各地に海外拠点を設置するなど、海外ネットワークを強化し、世界にチャレンジするグローバル大学として着実に歩みを進めています。

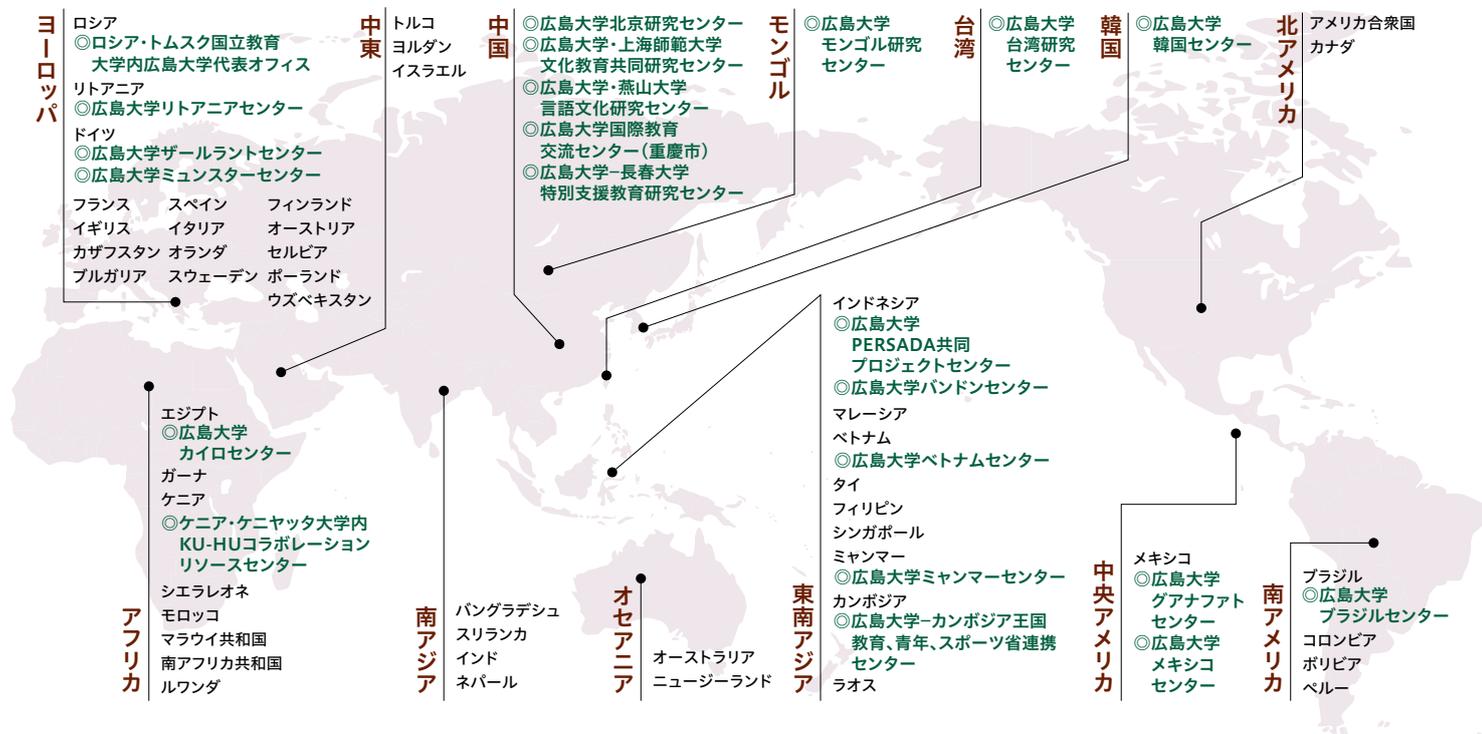
## 教育研究組織 (令和2年4月1日現在)

### 国立大学法人 広島大学

<b>学 部</b>		<b>病院</b>	
総合科学部	総合科学科 国際共創学科	病院	歯科診療所
文学部	人文学科	<b>図書館</b>	
教育学部	第一類(学校教育系)	中央図書館	
	第二類(科学文化教育系)	東図書館	
	第三類(言語文化教育系)	西図書館	
	第四類(生涯活動教育系)	霞図書館	
	第五類(人間形成基礎系)	東千田図書館	
法学部	法学科	<b>教育本部</b>	
経済学部	経済学科	<b>全国共同利用施設</b>	
	附属地域経済システム研究センター	放射光科学研究センター	
理学部	数学科	<b>中国・四国地区国立大学共同利用施設</b>	
	物理学科	西条共同研修センター	
	化学科	<b>学内共同教育研究施設</b>	
	生物科学科	ナノデバイス・バイオ融合科学研究所	
	地球惑星システム学科	高等教育研究開発センター	
	附属理学融合教育研究センター	情報メディア教育研究センター	
医学部	医学科	自然科学研究支援開発センター	
歯学部	保健学科	森戸国際高等教育学院	
	歯学科	教育開発国際協力研究センター	
薬学部	口腔健康科学科	保健管理センター	
	薬学科	平和センター	
	薬科学科	環境安全センター	
工学部	附属薬用植物園	総合博物館	
	第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	北京研究センター	
	第二類(電気電子・システム情報系)	宇宙科学センター	
	第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	外国語教育研究センター	
	第四類(建設・環境系)	文書館	
生物生産学部	生物生産学科	スポーツ科学センター	
	附属練習船豊潮丸	HiSIM研究センター	
情報科学部	情報科学科	現代インド研究センター	
<b>大学院</b>		ダイバーシティ研究センター	
人間社会科学研究科	附属幼年教育研究施設	両生類研究センター	
	附属教育実践総合センター	トランスレーショナルリサーチセンター	
	附属特別支援教育実践センター	防災・減災研究センター	
	附属心理臨床教育研究センター	脳・こころ・感性科学研究センター	
	附属リーガル・サービス・センター	ゲノム編集イノベーションセンター	
先進理工系科学研究科	附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター	デジタルものづくり教育研究センター	
統合生命科学研究科	附属臨海実験所	<b>学内共同利用施設</b>	
	附属宮島自然植物実験所	ハラメント相談室	
	附属植物遺伝子保管実験施設	<b>附属学校</b>	
	附属先駆の看護実践支援センター		
医系科学研究科	附属先駆のリハビリテーション実践支援センター		
<b>専攻科</b>			
特別支援教育特別専攻科			
<b>附置研究所</b>			
原爆放射線医科学研究所	附属被ばく資料調査解析部		

# 海外ネットワーク・拠点 (令和2年5月1日現在)

広島大学では、世界53カ国・地域と大学間国際交流協定を、また51カ国・地域と部局間国際交流協定を締結しています。さらに、中国、台湾、ロシア、エジプト、ケニア、ブラジル、ベトナム、インドネシア、韓国、ミャンマー、メキシコ、カンボジア、リトアニア、ドイツ、モンゴルの15カ国・地域に海外拠点を設置しています。 ※地図中の国名は大学間国際交流協定締結国です。



## 国際交流協定

大学間

53カ国・地域  
334機関 370協定

部局間

51カ国・地域  
359機関 398協定



パルマ大学(イタリア)と大学間協定を締結(令和元年10月)



広島大学ミュンスターセンターを開設(令和元年5月)

## 県外オフィス

東京オフィスは教職員の活動や本学学生の就職活動を支援するほか、大阪・福岡オフィスでは入学相談などを行っています。



### 東京オフィス

東京都港区芝浦3-3-6  
キャンパスイノベーションセンター409号

### 高大接続・入学センター 大阪オフィス

大阪府大阪市北区中之島4-3-53  
大阪大学中之島センター503号

### 高大接続・入学センター 福岡オフィス

福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-1  
アーバンネット博多ビル4階123号

## 附属学校

広島高等師範学校や広島師範学校などを前身校とする広島大学の附属学校の基本理念と役割は、「学内外の人の発達を支援すること」です。大学の学びに接して社会で幅広く活躍できる児童・生徒を育てるとともに、大学生・大学院生の教育実習先として質の高い教員の養成に寄与しています。

### 翠地区(広島市)



附属小学校



附属中学校  
附属高等学校

### 東雲地区(広島市)



附属東雲小学校



附属東雲中学校

### 東広島地区(東広島市)



附属幼稚園

### 三原地区(三原市)



附属三原幼稚園



附属三原小学校



附属三原中学校

### 福山地区(福山市)



附属福山中学校  
附属福山高等学校



兵庫県立大学 理事長  
五百旗頭 真氏  
Iokibe Makoto



広島大学 学長  
越智 光夫  
Ochi Mitsuo

～戦後からポスト・コロナ時代まで～

# 日本社会と大学を語る。

公立大学法人兵庫県立大学理事長で政治外交史家の五百旗頭真氏が2020年7月、教養教育特別講義「世界に羽ばたく。教養の力」に合わせて広島大学東千田キャンパス（広島市中区）に来学しました。「激動の世界と日本」をテーマに1時間30分の講義収録後、学問を志したきっかけや研究への情熱、ポスト・コロナ時代の社会・大学について越智光夫学長と縦横に語り合いました。

## 新型コロナで一変した 仕事や生活

**越智** 本日はコロナ禍の最中にもかかわらず、ご来学いただき貴重なご講演をありがとうございました。コロナの影響で、私は東京や海外への出張がすっかりなくなりました。先生のお仕事にも影響があったのではないのでしょうか。

**五百旗頭** コロナ以後、初めて現場に、それも青春時代を過ごした懐かしい広島大学に呼んでいただき、今日は本当にうれしく思っています。確かにコロナで大きく変わりましたね。越智先生と同じく、私も東京出張が全部キャンセルになり、各地での講演もストップしました。最近ようやく再開されましたが、ほとんどの講演やシンポジウムは自宅からオンラインでの参加です。画面を見ながら話すのはタイミングが難しいですね。

**越智** 私は仕事以外では散歩の時間が増え、これまで目に留まらなかった木々の名前を調べて、覚えるようになりました。先生は生活に何か変化がありましたか。



広島大学本部の森戸道路に立つ五百旗頭氏  
(1971年11月)

**五百旗頭** 私は今、非常に体力が増強しています。ここのところ毎週、野球の練習をしていたのですが、若い全盛期よりも打力が上がり、今は外野手の頭を越える打球も打てるようになりましたよ。76歳にして生涯最高だなと(笑)。

**越智** 先生は政治外交史、政策過程論、日米関係論がご専門です。こうした領域を選択された理由をお聞かせください。

**五百旗頭** 京都大学で国際政治、政治史、外交史が専門の猪木正道教授(後に防衛大学校長)のゼミに入りました。猪木先生が語る歴史は大変躍動感があって面白い。先生はドイツの哲学者ヘーゲルのダイナミックな歴史哲学を自分の体に入れて、世界の中の日本を非常にビビッドに語る人なんです。すっかりファンになりました。大学

院では「石原莞爾と満州事変」というテーマで修士論文を書きました。日本は大正デモクラシーから満州事変の後、軍部の時代になり、さらに敗戦を経て戦後の経済国家へと、振幅しながら動いていった。戦前日本の転機を学びたいとの思いから、先生の勧めもあり、まず関東軍参謀で満州事変を起こした石原莞爾の研究に取り組んだのです。

## 広島大学に赴任早々、 大学紛争に巻き込まれる

**越智** 先生が政経学部の助手として広島大学に着任された1969年4月は、大学紛争の全盛期でしたね。当時の本学や学生の印象はいかがでしたか。

**五百旗頭** ちょうど1969年は、東大の安田講堂占拠に始まり、京大でも構内で火炎瓶が飛び交う内戦のような状況でした。そこから逃れるように広島大学に赴任してきたら全共闘に封鎖されていて、正門前はバリケードの迷路を横になってすれ違いながら行き来するありさまでした。そうした状況の中、46歳の若さで学長に選ばれたのが医学部の飯島宗一教授でした。飯島学長は非常に言語明瞭でシャープな人だと感じましたね。学生側の要求に応じて開かれた団交では、私も記録係として同席したのですが、驚いたことに飯島学長はつるし上げられるどころか、全然負けていない。学生たちの発言に的確に应答し、そのうちに「君たちは学生だろう。学生ならもっと論理的に言えないのか」と叱ったものだから、聴衆の拍手が次第に学長に集まるようになった。すると学生側は「保守反動の学長は救いがない」と団交を打ち切り、以後二度と団交を要求しませんでした。まず、志があるから逃げずに立ち向かい闘える。そして交渉では、知力で学生たちにズバツと切り返せる。私はその姿を見上げているだけでしたけれども、立派なものだなと思いましたね。

同年8月には、飯島学長の決断で機動隊を入れて封鎖を解除しました。そして再封鎖をされたら困るからと、教官が交代で宿直することに。すると年配の偉い教授が「私は体調に問題があるので夜警を勘弁してもらえないか」とおっしゃる。当時、私は広島市段原中町のアパートに一人住まいだったので、代わりによろこんで引き受けました。非常時ゆえに偉い先生に対しても友達のお付き合いをさせていただきました。その

後、仲良く無邪気に新しい雰囲気でもやましよう、先生たちのソフトボールチームを結成しました。またゼミでは、熱心な学生たちと授業後に食事に行くこともありました。広島若者は人懐っこいなと思ったものです。楽しく気持ちのいい広島時代でしたね。

## 米・国立公文書館で発見した 戦後日本の分割占領案

**越智** 広島大学で研究者としてのスタートを切られたわけですが、どのような研究を志されたのですか。

**五百旗頭** 広島大学では政経学部の政治外交史講座に所属しました。日本の歴史と言っても戦後は国際要因が非常に多く、占領政策はまさにアメリカによる日本の再建プランでした。次は戦後日本について実証的な歴史研究をやりたいと考えていたところ、恩師の高坂正堯京都大学教授の計らいもあり、1974年にワシントンの国立公文書館での占領資料調査が実現しました。まず日本に比べ、資料がとても良く整備されていることに大変ショックを受けましたね。アメリカ政府は真珠湾攻撃(1941年)の後、敵国である日本の専門家を集めて、戦後日本の再建に向けた研究グループを作りました。日本専門家の資格は、日本語が話せることと日本での生活経験があること。その一人が戦後日本の設計者と称されるヒュー・ボートン氏です。膨大な量の文書の中に、戦後日本の再建方針を示したボートン氏の手書きメモがありました。真珠湾から半年後ぐらいの時期です。それが極東班グループに付議され、その議論に基づいた最初の戦後日本の基本方針のようなものが国務省の幹部会の文書となり、次に陸海軍と国務省の合同委員会の文書にまとめられてトルーマン大統領の承認を得るまで、まるで昨日起こったことのように、すべてが記録されているんです。

私は寝食を忘れて1週間、それらの資料をむさぼり読みました。また実際に日本占領を実施するのは軍なので、軍の文書も見始めました。そして終戦の1945年8月15日の翌日に軍が完成させた、「日本および日本領土の最終的占領」という数十ページもの大文書を見つけたのです。それは、北海道と東北地方はソ連、九州と中国地方はイギリス、東京から関西にかけての本州中心部はアメリカ、四国は中国軍の占領下に置く



## 五百旗頭 真氏

Iokibe Makoto

1943年兵庫県生まれ。京都大学法学部卒業後、同大学大学院法学研究科修士課程(政治学専攻)修了。広島大学政経学部助手、講師、助教授を経て、神戸大学法学部教授、東京大学社会科学研究所客員教授、米国ハーバード大学客員研究員、防衛大学校校長などを歴任。現在は公立大学法人兵庫県立大学理事長。『米国の日本占領政策』でサントリー学芸賞受賞。他に吉田茂賞(2回)、吉野作造賞を受賞。2011年、文化功労者に選ばれる。2020年、宮内庁参与に就任。専門は日本政治外交史。

という割り振りがなされ、鮮やかな地図付きで、人口、経済、さまざまな条件を示しながら作られたプランでした。日本はドイツと同様に分割、切り刻まれる運命もあったんだと身震いする思いでした。

**越智** その記事が中国新聞のスクープとして掲載され、思わぬ大反響を呼んだそうですね。

**五百旗頭** 帰国後、知り合いの記者から取材を受けたところ、翌日の中国新聞に「日本分割占領案」という私の写真入りの記事が大きく載ったのです。その記事を見た朝日新聞広島支局の記者が飛んできた。日本分割占領案なるものを広島大学の講師が発見したというニュースが全国に流れました。しかしその後、東京の国際政治や外交の権威から「そんなものがあれば、もっと知られているはずだ。地方の分からない若造が幻でも見たんじゃないか」といった批判の声が上がり、有力月刊誌にも厳しい記事が出ました。私はびっくり仰天しましたが、記事を読んで分かりました。トルーマン大統領は私が見つけた軍の分割占領案を認めず、アメリカが中心になって日本本土全体を一元的に統治するという国務省の案を承認した。その結果、軍の分割占領案は日の目を見なかったために、誰も知らなかったわけです。しかし、これほどの大文書として準備されていたことは間違いないので、私はその月刊誌の編集者に、資料を根拠とする反

論を書かせてもらえないかと手紙を出しました。ところが、なしのつぶて。ショックで夜も眠れませんでした。

**越智** まさに苦境に立たされたわけですね。当時、どのようにして乗り越えようかと？

**五百旗頭** 実は、この資料調査で確認した重要な資料は全部コピーを注文していました。米国から3000ページの文書が3カ月後に送られてきました。これらの資料に基づいて、対日占領政策の決定過程についてきちんとした論文を書くというのが私の出した結論でした。幸いにも翌年開かれる国際政治学会での発表が認められました。いつにも増して超満員の会場には、私を批判した国際政治学会副理事長の細谷千博先生が座っていました。発表後の質問になると、細谷先生が真っ先に手を挙げました。質問というより糾弾でした。恐ろしいなと思ながらも、資料根拠に基づいて丁寧に説明しました。すると一転、細谷副理事長にも負けない新進気鋭の若侍が現れたと評価されました。細谷先生ご自身もその後お目にかかった際、「あの節は失礼しました。私が間違っていました」と率直に言われました。学会というところはフェアだなと実感しましたよ。くだんの編集者から黙殺された時は学者生命の危機だと思いましたが、やるべきことをやったら、大いに迎え入れられました。

## 戦後日本を理解するために アカデミアを志す

**越智** お父様もお兄様も大学の教授をお務めになった学者ご一家ですね。先生も小さい頃からアカデミアで研究したいとお考えだったのですか。

**五百旗頭** はっきりしていることは、学者は貧乏だということです。戦前の学者は割と優雅だったらしいのですが、敗戦後の国家公務員の給料は民間に比べてうんと少ない。私の家は家族が多く、わずかな給料では食べるものにも事欠くほどでした。民間への就職ではなく、学者を選べば貧乏になるということは分かっていたのですが、一方で、戦後日本社会を理解したいという気持ちがありました。一体、この戦後日本というのは何なんだろう。日本の将来はどうなるのか——。ですから大学院でもう少し勉強したいと考え、大学4回生では就職活動をせずにいました。

**越智** 大学院進学に照準を定めて勉強さ

れていたのですか。

**五百旗頭** 実は成績が悪かったんです。京都大学近くにある進々堂という喫茶店に入りびたり、友達と盛んに議論していました。ヘーゲルの精神現象学だとか、ベルグソン、マルクス、トマス・アクィナスといった世界の名著、大思想が次々に出版されていた時期で、それを教材にしましてね。猪木先生の授業は面白かったのですが、他の授業は全然行く気にならなかった。そのため大学院に無試験で入れる学内の優遇制度の成績に届かず、他大学の人と一緒に受験する羽目になったほどでした。ですから猪木先生に大学院進学の意味を告げ、認めてもらえた時は胸をなでおろしました。

**越智** 当時、猪木先生は論客としてメディアでも発言されていましたがね。研究者として教わったのは、どんなことでしょうか。

**五百旗頭** 猪木先生は社会に対する使命感が強かったですね。先生の恩師である河合栄治郎先生は戦前、軍部の弾圧を受けた自由主義者でした。1936年の二・二六事件の時も、河合先生は東大の学内新聞に、軍部を厳しく批判した論文を寄稿しました。それを恨んだ軍部の弾圧によって東大教授の職を追われ、終戦直前に亡くなりました。猪木先生はその河合先生の精神を引き継ぎ、左右の全体主義と闘った人でした。右の国家主義も、左の共産主義も許さない。個人の自由や自由の尊厳を大事にする社会でなければだめだと。戦後に強まったマルクス主義の風潮も批判しました。平和



## 越智 光夫

Ochi Mitsuo

1952年愛媛県生まれ。1977年広島大学医学部卒業。整形外科医。1996年世界初の三次元自家培養軟骨移植を開始し、2004年に内閣府の日本学術会議会長賞を受賞。2007年～2011年、広島大学病院長を務める。2015年広島大学長に就任。同年、紫綬褒章を受章。広島東洋カープのチームドクターを30年間にわたり務めた。

主義が行き過ぎ、安全保障上の対応をしないこともまた危ないと、警鐘を鳴らしました。京大の正門前の大きな立て看に、名前をもじって「猪木「邪」道の許せない発言を弾劾する」などと書かれ、左翼の学生からこき下ろされていました。

しかし案外、正論を主張されていたと思うんです。著書『共産主義の系譜』では、共産主義の良い点は認めつつも、「絶対的正義」のように、人間が何かを神格化する時は大きな過ちを犯すことを見事に論じています。たとえ批判を受けても本当だと思ふことを貫く。Professorのprofessとは信条を表明するという意味。本当のことは、社会がそれを喜ぼうと喜ぶまいとprofessするのが教授なんだ、という考えを持って闘う人でした。私は闘うタイプではなく協調を好む性分なのですが、本当の筋を外さないというのは偉いと思います。

## 日米同盟プラス日中協商

**越智** 確かに、筋を通すというのはなかなか難しいことだと思います。改めて戦後を振り返ると、日本は軍備を持たないことで経済が発展した。軍備にかけられるお金が少なく済んだわけですが、国の選択をどのように評価されますか。

**五百旗頭** 現実主義の国際政治学を志した者として言えば、戦後の発展は決して平和主義の理念があったからではないと思います。日米安保条約でアメリカという世界一の超大国が出した庇(ひさし)に、日本の安全を任せることができた。日本は余力のある範囲で自衛力を持てば良かったわけです。当時の脅威はソ連です。日本がいくら軍備に血道を上げて、超大国ソ連には対抗できません。しかし、日米安全保障条約の下で他国が入ってこられない形を作ることにより、経済や平和的な活動に全力を注ぐことができる。それは吉田茂首相の選択でしたが、おかげで日本は経済的繁栄ができたし、成熟した文化を育てることもできています。

**越智** 昨今は中国が台頭して米中の対立が激しさを増し、「新冷戦」といわれる事態です。日本が米中の懸け橋になるのは簡単ではないと思いますが、米中間で日本はどのような立ち位置を取るべきでしょうか。

**五百旗頭** 一番重大な問題ですね。日本外交の議論で私がずっと主張してきたのは「日

米同盟プラス日中協商」です。最近の北朝鮮や中国の動向を見れば日米同盟は非常に大事です。一方で日本は中国や韓国など周辺国とも良好な関係を築かなければならない。協商というのはententeという外交用語の翻訳で、相互利益が取れる関係です。対立があっても、相互に利益になることはできるだけ落ち着いた関係を保つことが重要です。中国には品位を欠く振る舞いに対して反省を促す一方、アメリカにも世界の中での良きリーダーシップを求めていく。第二次世界大戦後に米ソを仲介したイギリスのように、米中両国に秩序再編を働きかけていけるのは、日本しかないと思っています。

## 地方が自らの魅力と尊厳を築き、発信する

**越智** 今、新型コロナウイルスの感染拡大によって、日常生活や社会の仕組みはもとより、教育も思わぬ変容を迫られています。一方でパラダイムの転換と捉える動きも見られますが、コロナを機に、日本社会はどう変わっていくべきだとお考えですか。

**五百旗頭** まずは5Gに代表されるオンライン化を促進することです。日本は伝統保守社会なのでなかなか変えられず、他国の一周遅れになっていました。そこにコロナ禍が来て、リモート化を進めざるを得なくなりました。さらに言えば、重厚長大産業に寄りかかるのではなく、先端技術を組み入れてもう一度活力を取り戻す。そういった産業社会の再編成ができるころでは株価も上がるし、人も集まるでしょう。

ポスト・コロナでは、グローバル化が足踏みするあおりで観光や交通は1、2年は苦しい時期が続くと思いますが、コロナの解消後はまた上向いていく「U字回復」を見ると見えています。他方、社会が重要性を認めた新しい先端分野はどんどん伸びていくはずですよ。

**越智** 今回のコロナ禍では、首都圏への一極集中もクローズアップされました。

**五百旗頭** 首都直下地震は必ず起こるのに顧みず、一極集中をずっと続けています。感染症が大都会で猛威を振るう中で、もう一度、地方の

尊厳を再確立し、流れを変えていくべきだと思います。首都集中を止めるのはもちろんですが、地方が魅力と尊厳を自ら築くことが非常に大事です。例えば田舎町だけ古民家を改修し、テレワークで仕事ができるとか、地産地消の食物はおいしく自然は豊かで、子育てには最高の環境といった魅力と尊厳を発信して、東京から人を引き寄せます。

**越智** 私も同感です。広島大学のメインキャンパスがある東広島市内に、全国に先駆けて5Gのネットワークを構築することを市長に提案しています。また今年の10月から、アメリカのアリゾナ州立大学の海外キャンパスを本学のキャンパス内に開設して共同運営します。サンダーバードグローバル経営大学院の広島大学グローバル校というキャンパス・イン・キャンパスで、国立大学では初の取り組みです。学生数25人程度からスタートし、アリゾナの先生にも来てもらって広島大学で教える。本学の教員も英語で教えて交流を進め、最終的には千人ぐらいの規模を想定しています。これを核に東広島市と大学が共に発展していく「タウン・アンド・ガウン構想」を進めていくつもりです。モデルはアリゾナ州立大学と地元テンピ市です。東広島市で5Gを活用したスマートシティが実現すれば、空港から近く緑も多いので、地方の魅力を発信できると確信しています。ポスト・コロナは地方7割、東京3割ぐらいの配分で仕事や生活ができるようになればいいと思います。

**五百旗頭** 壮大な構想をお持ちなのですね。それに加えて医療と子育て、高齢者ケアがあれば、強力な武器になります。これから先どのように進んでいくのかを楽しみにしております。

**越智** 大学と地元と一緒に伸びていくことを願っています。今日は長時間にわたり、示唆に富むお話をありがとうございました。



講義収録後、越智学長より五百旗頭氏に「特別招聘教授」の称号記が贈られた



小林 信一  
— 特任教授

こばやし・しんいち / 1956年生まれ。筑波大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。学術修士。専門は高等教育学。2018年広島大学高等教育研究開発センター長に就任。2020年より現職。

多彩な文系の学識と経験を生かしてリアルな問題にも立ち向かう

人文社会科学系・学際系分野 を再編 ...>

## 人間社会科学研究科

人間社会科学研究科は文学、法学、経済学、教育学、総合科学、国際協力、法科大学院を基盤とするいわゆる文系の研究科で、これほど多彩な分野を持つ大学はまれです。従来の科学技術は問題を個別要素に分割し、学問分野別に分業して効率よく解くことで解決に貢献してきました。しかし現実社会で起きる問題は、学問別に分割されているわけでも、実験室のような統制された条件に基づくわけでもありません。地域の風土、歴史や慣習、社会の価値観など個別性の高い条件下で起きます。これこそ文系学問の得意なところ。文系の多様な学識や経験があれば、リア

ルな社会に入り込み、利害関係者や他分野の専門家と共に問題を明確化し、解決策の探究に協力できます。伝統的な学問を追究する研究者がいる一方、問題が生じると、関連分野の研究者たちが持続可能な社会の実現のために立ち上がる、そうした活動を展開することが本研究科の使命です。本研究科は幸いにも国際開発や教育学の分野を持っています。広島、日本、さらには発展途上国の社会や教育などを対象に研究活動を展開し、学問研究へと昇華させていきます。同時に研究科長として構成員の幸福を追求し、よりよい教育研究を実現する研究科を目指します。

研究科長が語る、広島大学大学院のこれから

# 「持続可能な発展を導く」

Science for Sustainable Development



高田 十志和  
— 特任教授

たかた・としかず / 1953年生まれ。筑波大学大学院化学研究科博士課程修了。理学博士。専門は高分子合成。東京工業大学物質理工学院教授、同学名誉教授などを経て、2020年より現職。

科学と技術の潜在パワーで資源、エネルギー、環境問題にチャレンジ

理学・工学系分野 を再編 ...>

## 先進理工系科学研究科

先進理工系科学研究科は、広島大学の従来の5研究科を融合し、多彩な理工学分野を包含する全国有数の規模の教育研究組織として誕生しました。資源、エネルギー、災害、環境、食料などの多様な国際的課題解決にとって、本研究科の持つ科学と技術の潜在的パワーは非常に魅力的です。広い理工学分野の総合力を生かし、持続可能な発展を導く科学の創出と実践に尽力することによってSDGsの達成に貢献すること、そのために主要な役割を果たすことを使命としています。一専攻に350人の教員が所属する日本初の組織形態で、たくさんの世界的な教員

が理工学の広い分野にわたって活発に研究活動を展開していますので、学生にとっては学びたいこと、やってみたいことが実現できる恵まれた環境といえます。「志と意欲のある学生、チャレンジ精神のある学生」を歓迎し「伸びしろのある学生」に育て、地元広島から世界までさまざまな舞台で活躍できる人材として世に送り出します。世界トップ100を目指す広島大学にあって中心的な役割を果たしていく研究科であるとの自負の下、そのスケールメリットを活かし、教職員と学生が一丸となって課題に挑戦し、常に躍進する活気あふれる研究科でありたいと思います。

生物・生命科学系分野 を再編 …>

## 統合生命科学研究科

統合生命科学研究科は理学、農学、工学、環境科学、医学の各分野で細分化した生命科学や生物学を有機的に連携し統合した新しい研究科です。幅広い分野を俯瞰的かつ総合的に理解し、次世代の生命科学や生物学の発展を目指しています。生命科学や生物学は急速に進展していますが、すべての多様な生物は基本的には同じ遺伝様式を持つという普遍性が解明され、さまざまな疾病に関与するタンパク質を標的に合理的な創薬も進んでいます。パンデミックを引き起こした新型コロナウイルスも結局われわれの細胞内で遺伝子発現機構に寄生して生き延びています。

ウイルスと共存しながら進化してきた人類の英知をもってすれば、パンデミックに対応することも可能はずです。未知の領域がまだ数多く残されていますので、若い人の果敢な挑戦によって生物の多様性が普遍的な基盤により解明されることを期待しています。

すべての基礎研究は、真理の解明に基づく限り必ず応用研究へと発展し、また急速に発展した応用研究も、着実な基礎研究を基盤にしていることを科学の歴史が物語っています。基礎と応用の区別なく真理探究へ果敢に挑戦する研究科、それが理想の姿です。

生物の普遍性と多様性を探究し  
創薬など応用研究にも注力

西村 善文

特任教授

にしむら・よしふみ / 1948年生まれ。東京大学大学院薬学系研究科博士課程退学。薬学博士。専門は構造生物学。横浜市立大学大学院生命医科学研究科長などを経て、2019年より現職。



2020年4月、広島大学大学院は、従来の11研究科を4研究科に再編しました。人文科学、社会科学、自然科学のあらゆる学問を包含し、世界を平和で多様な、持続性のある社会へと導く知を生み出す教育研究拠点として始動します。

# 科学」の創生を目指して

医学系分野 を再編 …>

## 医系科学研究科

医系科学研究科は、医学、歯学、薬学、保健学が融合したわが国初の医療系教育・研究拠点である医歯薬保健学研究科を前身としています。大学病院、原爆放射線医科学研究所などと密に連携し、学際教育・研究活動、学術の高度化・複合化に対応できる研究活動の活性化、異分野融合によるInter-Professional Education (多職種連携教育)の充実と実践など、柔軟な教育・研究体制を構築しています。各研究室が平時から有機的に連携を深め教育・研究力を醸成することにより、有事に対応可能な研究体制を構築し、それを担う人材の育成が本研究科の使命だと考

えます。現在推進中の「広島大学CoVピースプロジェクト」はその具体例で、新型コロナウイルス対策に係る研究・開発を一丸となって推進しています。ポストコロナ社会は集中型から分散型の社会へ、構造の変化が求められるでしょう。中小都市が各地に点在する多極的な社会構造において、中四国地方の医療系教育・研究・臨床拠点としての役割を果たしていきたいと思えます。そして「100年後にも世界で光り輝く大学」を目指す本学において、本研究科も先入観にとらわれない自由な発想で、幸福な100年後を創り出す人材を輩出し続けたいと考えています。

医・歯・薬・保健学と密に連携  
中四国の教育・研究・臨床拠点へ

大段 秀樹

教授

おおだん・ひでき / 1962年生まれ。広島大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士(医学)。専門は消化器外科、臓器移植。ハーバード大学医学部留学を経て、2008年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授。2019年より現職。

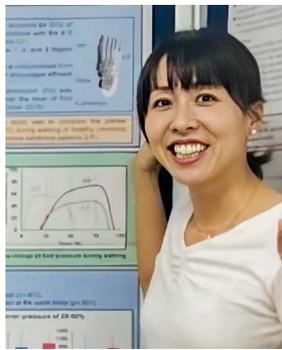


教育学部  
大学院人間社会科学研究科 准教授

黒坂 志穂  
KUROSAKA SHIHO

専門研究分野

健康科学、ヘルスプロモーション



広島県の高齢者を対象とした健康体操講座



ジャカルタ芸術大学の健康増進ワークショップ

# 健康社会の実現へ 産官学の連携で GENKI体操を開発・実践

**現** 在の日本は、世界的にも例を見ない急速な高齢化が進んでいます。“健康のために運動をした方が良い”ことは、誰もが理解していることですが、自分の身体に合った質の良い運動を継続することは難しいものです。昨今は、さまざまな生活習慣病に加え、新型コロナウイルスの流行等もありますので、このような状況へのアプローチとして、私は骨を鍛えることで免疫力を向上させることができないかと考えています。具体的には、「骨を強くする

こと」と、「筋肉を柔らかくすること」に着目して、楽しく軽やかな身体づくりのための継続可能なプログラムを開発し、国内外の健康促進に貢献するための研究を行っています。

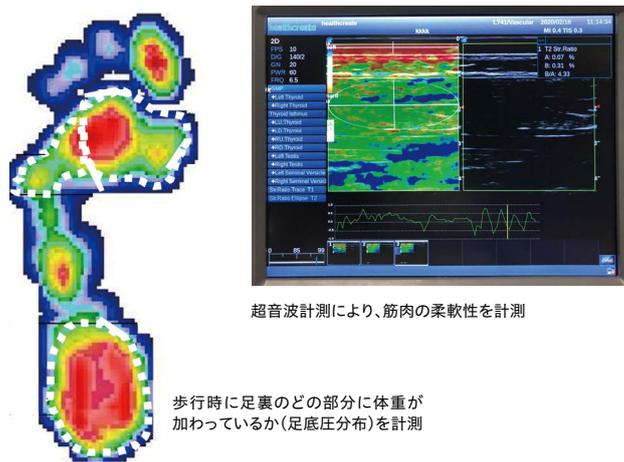
こうした研究に取り組む契機となったのは、自分自身の経験でした。学生時代に水泳に打ち込んでいたのですが、体調がすぐれず、運動が必ずしも健康につながるものではないと身をもって知ったことがきっかけです。

広島県は、65歳以上の女性における健康寿命が全国ワースト1位です。さらに、災害で被害を受けた高齢者世帯では、閉じこもりにより機能低下が進行することも知られています。そこで、私は産官学(生協ひろしま・広島県・広島大学)の連携を通じて、「ひろしまGENKI体操®」を開発し、地域でその普及と効果検証を行っています。これまでのいくつかの研究成果は国際誌に掲載され、ま

た数多くのメディアに取り上げられたことで、国外でも同様の活動ができるようになりました。しかし、私にとっては、体操教室に参加した方々が、「教室が大好きだ」、「身体が軽くて、たくさん外に出るようになった」と爽やかに話してくださることが、一番のモチベーションとなっています。

年齢を重ねると筋肉は硬くなってしまいうため、高齢者にとって、伸び伸びと動いたり、弾んだりすることは困難となります。しかし教室には、軽やかに弾んでいる姿が溢れています。開発したプログラムによって得られる身体の快感を、大勢の人々と共有できることはとても幸せです。研究というと、研究者がクローズアップされますが、そこに関わる人々の力は絶大で、その間に生まれる信頼関係も、かけがえのないものだと思います。

現在は、感染症の流行や気候変動など、先が見通しづらい状況があり、今後ますます「健康であること」の重要性は高まっていくと思います。より多くの方々が自身の健康を実感できる健康社会の実現に向けて、これからも研究やプロモーションに取り組んでいきたいと考えています。



## 附置研究所

### 原爆放射線医科学研究所

ゲノム科学などの最先端の基礎研究から、再生医療など高度な臨床展開に至るまで「放射線の人体影響」の総合的な研究を推進しています。被爆者の医療を半世紀にわたって行う一方、放射線災害・医科学領域の研究拠点として、全国の研究者・医師と活発な共同研究を進めています。



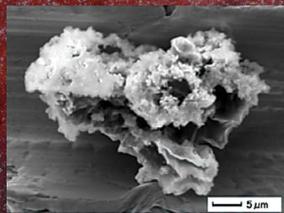
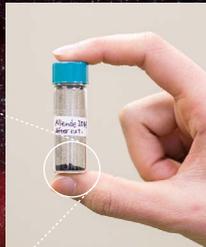
## 学内共同教育研究施設

- ナノデバイス・バイオ融合科学研究所
- 高等教育研究開発センター
- 情報メディア教育研究センター
- 自然科学研究支援開発センター
- 森戸国際高等教育学院
- 教育開発国際協力研究センター
- 保健管理センター
- 平和センター
- 環境安全センター
- 総合博物館
- 北京研究センター
- 宇宙科学センター
- 外国語教育研究センター
- 文書館

# 宇宙における 有機物の化学進化を解明し、 生命の起源に迫る



炭素質隕石から分離精製した  
黒色の固体有機物



南極の表層雪から  
採取された宇宙塵

**隕**石や宇宙塵などの地球外物質中に含まれる有機化合物をさまざまな手法で化学分析し、太陽系における生命材料物質の起源・形成・供給過程を解明することを目指した研究に取り組んでいます。

有機化合物を構成する炭素(C)、水素(H)、酸素(O)、窒素(N)、硫黄(S)は、私たち生命を構成する主要な元素であるとともに、宇宙における存在度が高い元素です。約46億年前、極低温の星間分子雲では、ガスや塵の表面で化学反応が起こり、C、H、O、N、Sからなる種々の分子が生成しました。その後、原始惑星系円盤を経て微惑星が生まれる過程で、最初に生じた分子は合成と分解を繰り返す、複雑な有機化合物

となって、小惑星や彗星などの小天体の成分として取り込まれました。これらの小天体が、地球を含むさまざまな惑星を作ったと考えられています。つまり、小天体は太陽系が誕生した当時の物質を記録した“タイムカプセル”であり、その中に含まれている有機化合物は惑星や生命の主要な材料物質なのです。

隕石や宇宙塵は、地球に降ってくる小天体物質です。有機炭素含有量が高い炭素質隕石には、地球外起源のアミノ酸、カルボン酸、糖といった生体関連分子もわずかに含まれますが、それだけではなく、石炭のように黒い色をした、高分子の固体有機物を多量に含んでいます。私は、この黒い有機物が、太陽系の歴史でどのように形成され、生命の起源に寄与したかという問題に長年興味をそそられてきました。いろいろな種類の炭素質隕石を研究すると、黒い有機物の化学組成は、隕石の母天体が経験した水質条件や温度条件によって変化することが明らかとなり、こうした特徴を母天体の環境指標として適用することができるようになりました。また、太陽系の内側に存在する小惑星由来の隕石と、太陽系の外側に存在する彗星由来の宇宙塵にそれぞれ含まれる固体有機物の化学

理学部  
大学院先進理工系科学研究科 教授

藪田 ひかる

YABUTA HIKARU

専門研究分野

宇宙地球化学、アストロバイオロジー



組成を比較することによって、太陽系形成史のより始原的な進化段階にまで小天体有機物の起源をさかのぼることができるようになってきました。

2020年の末頃には、探査機「はやぶさ2」によって採取された小惑星リュウグウの試料が地球に持ち帰られる予定です。探査機による観測から、リュウグウは今までに知られているどの隕石にも一致しないことがわかっています。未知の地球外物質から、生命の起源の謎に迫る新たな手がかりをきつとつかめるのではないかと期待しています。「はやぶさ2」初期分析の固体有機物チームのリーダーとして、次の世代が担う将来の小天体探査につなげられることを一つでも発見したいと思っています。



固体有機物の分子構造モデル (Glavin, Yabuta et al. 2018)

## 特色ある研究施設

- スポーツ科学センター
- HiSIM\*研究センター
- 現代インド研究センター
- ダイバーシティ研究センター
- 両生類研究センター
- トランスレーショナルリサーチセンター
- 防災・減災研究センター
- 脳・こころ・感性科学研究センター
- ゲノム編集イノベーションセンター
- デジタルものづくり教育研究センター

\*HiSIM(Hiroshima-University STARC IGFET Model)は、広島大学が半導体理工学研究センター(STARC)と共同で開発した回路設計用トランジスタモデル

### 全国共同利用施設

## 放射光科学研究センター

光速に近い電子が電磁石によって進む方向を変える時に「放射光」が発生します。この光は強力で、しかもさまざまな波長を含むことから「夢の光」と呼ばれています。本センターの研究成果は『Nature』や『Science』などのトップジャーナルに掲載されています。





生物生産学部  
大学院統合生命科学研究科 教授

**島田 昌之**  
SHIMADA MASAYUKI

専門研究分野

精子や卵の基礎研究、  
生殖工学技術の開発

**哺** 哺乳類の子が生まれる仕組みについて「動物種によって数が異なるのはなぜか」、「オスとメスの比はなぜ1:1なのか」に興味を抱いて研究をしています。

哺乳類の性は、受精する精子がY染色体を持つY精子であるか、X染色体を持つX精子であるかで決定されます。私たちの研究グループは2019年に、X精子にはあってY精子にはないタンパク質を世界で初めて同定し、その機能差によって雌雄比を変えられることを発見しました。Y精子とX精子は同数つくられるので、多くの哺乳類で雌雄比は1:1です。しかしY精子とX精子は、持っている遺伝子が一部異なる(片方の性染色体の遺伝子を持たない)ことから、それぞれに固有なタンパク質を発現する、つまり潜在的な機能差があるのではないかと

X染色体をもつ精子(X精子)にだけ存在するタンパク質「TLR7」(赤色部分)を発見(Umehara et al., PLOS Biology, 2019)



考えました。そこでマウスの精子の全RNAを回収し、それらを解読して、X染色体あるいはY染色体から発現したものを絞り込み、X精子にしか存在しない「TLR7」というタンパク質を見つけました。

さらにTLR7を持つX精子と持たないY精子の機能差が発揮される条件を探索しました。その結果、生物のエネルギーとなるアデノシン三リン酸(ATP)の産生量が、X精子のみ低下して精子の運動能が減退し、沈殿すること、Y精子は影響を受けず、高い運動能により上

向することを発見しました。この「簡単にX精子とY精子を分離する方法」を体外受精に応用し、マウスとウシで雌雄産み分けに成功しました。

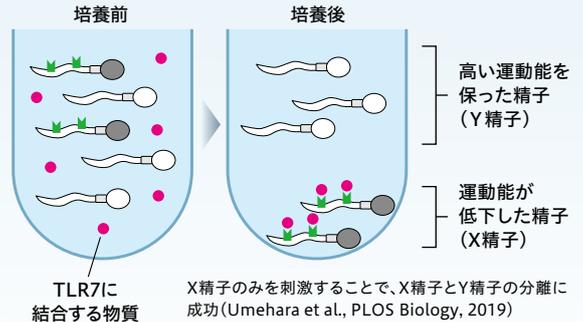
この研究成果は、「X精子とY精子の機能差を発見し、簡易的に分離して産み分けに成功した」という、単純で分かりやすいものです。しかしそこには、自分たちで仮説を立て、それを立証するストーリーを作り、実行するという地道な作業を繰り返した、5年余りにおよぶ研究の積み重ねがあります。数多くの失敗に挫折せず、予想外の結果を考察し、仮説を上回る現象をきれいに証明できた時の喜びが研究の醍醐味だと思っています。

研究成果は国内外から大きな反響がありました。例えば肉牛生産では、オスの仔牛の需要が大きいという状況があります。メスよりも大きく成長するオスの方が高値で取引されるため、畜産農家にとって経済効率が良いのです。今回私たちが発見した方法は、大掛かりな装置を必要としないため、将来的には個々の畜産農家で雌雄の産み分けができる可能性があります。今後は、生産現場で使えるレベルにまで技術の実用化を進め、家畜生産に貢献していきたいと思っています。

## 動物の雌雄を分ける遺伝子の働きを解き明かし、世界の食糧問題に貢献する



マウスで開発した手法を牛に応用し、オス牛生産に成功(写真提供/大分県農林水産研究指導センター)



## 世界トップレベルの

### ネットワーク型研究拠点

#### 広島大学FE<sup>\*</sup>・SDGsネットワーク拠点

本拠点は3つの特徴を持つ教育研究拠点になることを目指しています。①国際通用性のある研究力に裏付けられた平和、地球環境、SDGsに関する研究拠点、②人文社会科学の研究者も参加する問題解決型教育研究拠点、③個人、NGOs、企業、政府、国際機関など多様なアクターがグローバルに連携する教育研究拠点



\*FE: future earth(フューチャーアース)の略。  
地球環境研究に関わる科学者の国際的なネットワークです。

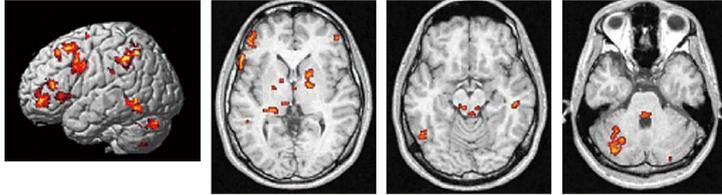
### 自立型研究拠点

活発な研究活動を展開する研究拠点を支援し、さらなる発展を促すことで世界的研究拠点の継続的な創出を目指します。

- プレート収束域の物質科学研究拠点
- 広島大学医療経済研究拠点
- エネルギー超高度利用研究拠点
- 広島大学健康長寿研究拠点
- キラル国際研究拠点
- 極限宇宙研究拠点

- 基礎研究を畜産技術開発につなげるトランスレーショナル型研究拠点  
— 日本発(発)畜産・酪農技術開発センター—
- 創薬・バイオマーカー拠点
- うつ病の革新的診断・治療法開発研究拠点
- 窒素循環エネルギーキャリア(Nキャリア)研究拠点
- 社会実装指向型 HiSENS拠点
- クロマチン動態数理研究拠点
- 肝臓・消化器研究拠点

# 脳機能画像と人工知能を用いて 精神疾患を診断 新たな治療法へ道



fMRIは、核磁気共鳴の原理を利用して得られる生体の断層像の上に、BOLD(Blood Oxygenation Level Dependent)効果に基づき推定された脳血流変化を画像化する技術

医学部  
大学院医系科学研究科 教授

**岡本 泰昌**  
OKAMOTO YASUMASA

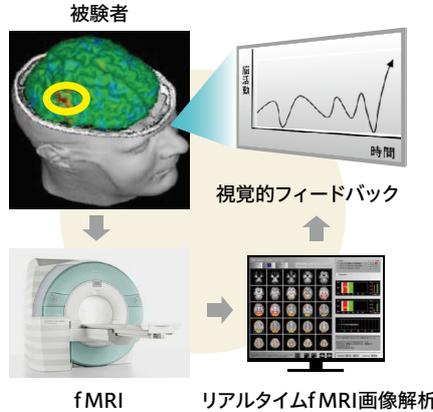
専門研究分野  
精神医学、脳科学



**精** 神疾患の診断は、医師の問診による臨床症状の把握によってなされています。そのため、診断の客観性・信頼性はこれまで問題視されてきました。また、治療においても人によって異なる治療反応性を示す場合も少なくありません。さらに臨床経過においても、慢性の経過をたどる方や病気を繰り返す方も存在します。

これらの問題を解決するために、比較的簡便に精神疾患を診断し、紛らわしい疾患を除外し、治療効果を評価できる脳バイオマーカーの確立が重要です。また精神疾患が、脳の活動の不調からおこる病気として仮定できた場合には、直接的にその活動を健康な方向に修正することができれば、最も効率的な治療となる可能性があります。

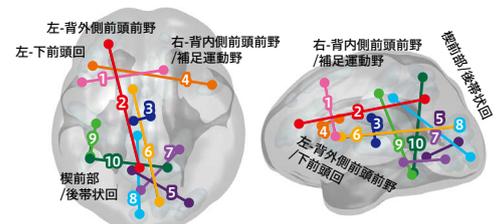
例えば私たちは、脳機能全体の非侵襲的な測定を可能にする機能的磁気共鳴画像法(functional magnetic resonance imaging; fMRI)法を用いて、全脳データからうつ病の中核群とされるメランコリア特徴を伴ううつ病に特異的な脳機能異常を抽出し、人工知能を用いて高い精度で判定できることを初めて明らかにしました。これらの結果から、将来的には10分間のfMRI検査によりうつ病の中核



被験者は、自分の脳活動の視覚的フィードバックをモニターしながら、望ましい方向に状態を変化させる方略を試行錯誤で学習する

群の判定ができることが期待されます。

さらにfMRIを用いた治療法開発も進めています。fMRIニューロフィードバックはfMRIで測定された、標的とする被験者自身の脳活動をリアルタイム(数秒以内)にフィードバックし、自身が自分の脳活動をモニターしながら、脳活動を調整することを学習する方法です。自分自身が異常な脳活動を調整できることから、新たな治療法として注目が集まっています。今後、これらの成果が得られた場合、個人の脳機能に基づいて最適化された個別化治療の実現が



約1万対の脳機能結合からメランコリア特徴を伴ううつ病の診断に寄与する10対の脳機能結合を同定した

可能となります。

脳の機能は、場所と物質に関する知識が積み重ねられるだけでは、単純につながることが指摘され、脳の計算原理、情報表現、人工知能などを研究する計算論的脳科学と、実験脳科学との緊密な協同研究が行われるようになってきました。ここで紹介した例も、こうした研究成果の一つです。昨今、多くの脳科学の研究者たちが、意志決定、情動、注意、意識などといった高次脳機能へ関心を寄せています。精神疾患を、これらの高次脳機能を理解するための障害モデルとしてとらえ、そのシステムを解明していくことは脳を知る上で非常に意義があると思われます。これらの脳機能の解明が精神疾患で苦しむ人々の福音となることを期待しています。

## 研究拠点の創出へ

### インキュベーション型研究拠点

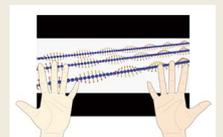
自立した世界的研究拠点へと成長する可能性のある研究拠点を選出し、重点支援を行います。

- ポリオキシメタレート科学国際研究拠点
- オルガネラ疾患研究拠点
- 都市-農村流域圏の健全循環創成(SATO NET創成)
- 次世代太陽電池研究拠点
- ダイバーシティ&インクルージョン科学の構築と実践のための研究拠点
- バイオジェニックナノマテリアル融合研究拠点

- MBR拠点
- 「光」ドラッグデリバリー研究拠点
- 教育ヴィジョン研究センター
- 次世代を救う広大発Green Revolutionを創出する植物研究拠点
- スマートバイオセンシング融合研究拠点
- 日本食・発酵食品の革新的研究開発拠点-日本食の機能性開発センター-
- 緊急被ばくにも即時対応できる再生医療研究拠点

### 右左の謎を解き明かすためのキラル国際研究拠点

右手と左手はよく似ているにもかかわらず、全く同じではありません。この違いをキラルと呼びます。右手系だけで作った磁石は普通の磁石と全く異なることが我々の研究で明らかになっています。このキラル磁石の問題は、生物の分子の問題や高エネルギー物理学の問題等とも共通性があることが分かってつづります。これらの問題を基礎科学の目から解明しています。



# 学生の意欲に応える

## 学部教育

多彩な学部を擁し、幅広い教養と専門分野の知識を身につける

### HiPROSPECTS®

広島大学独自の教育システム  
「到達目標型教育プログラム」

ハイプロスペクツ ※HiPROSPECTS(Hiroshima University Program of Specified Education and Study)は広島大学の登録商標です。

#### 興味・関心に合わせて学べる 3つのプログラムで編成

入学した学部・学科の「主専攻プログラム」、他の主専攻プログラムの概要も学習できる「副専攻プログラム」、特定分野の学習や資格取得を目指す「特定プログラム」を組み合わせ、自らの興味・関心に応じて学ぶことができます。

#### それぞれのプログラムで 到達すべき目標が見える

プログラムごとに卒業までに身につけておくべき知識や能力を到達目標として学生に明示し、定期的に到達度を確認します。目標を見据え、一人一人が着実に力をつけることができます。

#### 主専攻 プログラム

卒業時に学士号  
を取得

#### 副専攻 プログラム

他の主専攻プログラム  
を履修する

#### 特定 プログラム

特定分野の学習や  
資格取得を目指す



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/prog>

### TOEIC®L&R IPテスト

#### 社会的・国際的に通用するスコアで英語力を把握

入学時と卒業時の2回、全学一斉に実施します。社会的、国際的に広く通用するスコアを使って、学生が自らの英語運用能力を確認することができます。本テストのスコアは習熟度別クラス編成や本学英語教育のさらなる改善にも活用しています。

### 大学教育基礎科目

#### 大学で知的活動を行うための能力を育む全学必修科目

4つの科目区分(平和科目・大学教育基礎科目・共通科目・基盤科目)からなる教養教育の中でも、大学教育基礎科目は全学必修。教養ゼミ、大学教育入門があり、大学における知的活動の基礎を身につけます。

- 総合科学部
- 文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 薬学部
- 工学部
- 生物生産学部
- 情報科学部
- 特別支援教育  
特別専攻科

# 教育システム

## 大学院教育

学際的・融合的研究を実現する、  
新たな研究科に再編

### 博士課程教育

#### 2020年設置

- 人間社会科学研究科
- 先進理工系科学研究科

#### 2019年設置

- 統合生命科学研究科
- 医系科学研究科

## 教育研究環境

### 世界トップレベルの先端的研究を目指す教員・施設

世界トップレベルの総合研究大学を目指し、特色と個性の光る基盤的・先端的研究を展開しています。各研究科には幅広い分野をカバーする研究室が設置され、学生たちは豊富な教員陣の下で最先端の研究に邁進しています。各研究科附属の研究施設とも緊密に連携し、専門性の高い教育・研究活動を行っています。

## 大学院共通科目

### 現代社会で活躍するための基礎知識を獲得

広い視野と社会への関心や問題意識を養成し、それぞれの専門分野が「持続可能な発展を導く科学」としてどのような貢献が可能であるかの考察を深め、最近の社会システムの進展を正しく把握し、現代社会で活躍するための基本的な知識を身につけるために「大学院共通科目」を提供しています。

#### ● 持続可能な発展科目

国際的目標である持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)を理解し、持続可能な発展を導く科学を創出する能力および社会のさまざまな課題を解決する能力を身につけます。

#### ● キャリア開発・データリテラシー科目

最近の社会システムの進展を知り、これからの時代に必須な知識を身につけ、現代社会の課題に具体的に取り組み、解決に必要な知識・技術を使うことができる能力を修得します。

## 卓越大学院プログラム

### 社会にイノベーションをもたらす博士人材を育成

新たな知の創造と活用を主導し、次代を牽引する価値を創造するとともに、社会的課題の解決に挑戦して、社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材を育成することを目的として、本学が持つ深い専門性と先端的知見、産学連携による人材育成を通して、新産業の創出を担う人材を養成します。

#### ● ゲノム編集先端人材育成プログラム

(平成30年度 文部科学省採択)

研究科を横断する2コースによるゲノム編集を使いこなせる人材・ゲノム編集を産業に直結させる人材を育成

- ライフサイエンスコース(5年制)
- メディカルコース(4年制)

## 博士課程リーダー育成プログラム

### グローバルに行動する、次代のリーダーを養成

従来の学問分野・研究領域の枠組みを超えて、新たな知を創造するグローバルリーダーを輩出することを目的とした研究科を横断する新たな学位プログラムです。本学が培ってきた深い専門性を基盤に、独創力、俯瞰力、行動力、問題解決能力を備えるための授業科目や、広島大学マインドを身につけるための共通科目群などを配置。独創的に課題に挑み、幅広い知識をもとに事象を俯瞰し、グローバルに行動する人材を養成します。

#### ● 放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

(平成23年度 文部科学省採択)

研究科を横断する3コースによる放射線災害復興専門家の養成

- 放射線災害医療コース(4年制)
- 放射線環境保全コース(5年制)
- 放射線社会復興コース(5年制)

#### ● たおやかで平和な共生社会創生プログラム

(平成25年度 文部科学省採択)

研究科を横断する3コースによるオンサイト・リバーサイノベーションを推進するリーダーの養成

- 文化創生コース(5年制)
- 技術創生コース(5年制)
- 社会実装コース(5年制)

# 世界をキャン

## International

ヨーロッパへ  
**136人**  
ヨーロッパから  
**32人**

- アゼルバイジャン
- イタリア
- ウズベキスタン
- 英国
- オランダ
- カザフスタン
- キルギス
- タジキスタン
- ドイツ
- フィンランド
- フランス
- ブルガリア
- ポーランド
- リトアニア
- ロシア
- スペイン
- ハンガリー
- スイス
- チェコ
- ラトビア
- マルタ

アフリカへ  
**4人**  
アフリカから  
**49人**

- ウガンダ
- エジプト
- ガーナ
- ガボン
- カメルーン
- コートジボワール
- ザンビア
- チュニジア
- ナイジェリア
- ナミビア
- ブルキナファソ
- マラウイ
- 南アフリカ
- モーリシャス
- リベリア

中東へ  
**3人**  
中東から  
**30人**

- アフガニスタン
- イエメン
- イスラエル
- イラク
- イラン
- オマーン
- シリア
- トルコ
- パレスチナ

アジアへ  
**388人**  
アジアから  
**1,621人**

- パキスタン
- インド
- インドネシア
- 韓国
- カンボジア
- シンガポール
- スリランカ
- タイ
- 台湾
- 中国
- ネパール
- バングラデシュ
- フィリピン
- ベトナム
- マレーシア
- ミャンマー
- モンゴル
- ラオス
- キルギス
- ブータン
- 香港

## 広大から世界へ

世界44カ国・地域へ845人を派遣(令和元年度実績)



STARTプログラムに参加したことで、実際に現地で生活しなければ学べない、「生きた英語」を存分に吸収できました。また、異なる文化やライフスタイルを持った人々と交流して、多くの刺激を受けました。このプログラムに参加し、さらに海外へ目を向けるようになり、自分のやりたいことが明確になりました。きっと、皆さんの大学生生活や将来につながる、貴重な経験になると思います。

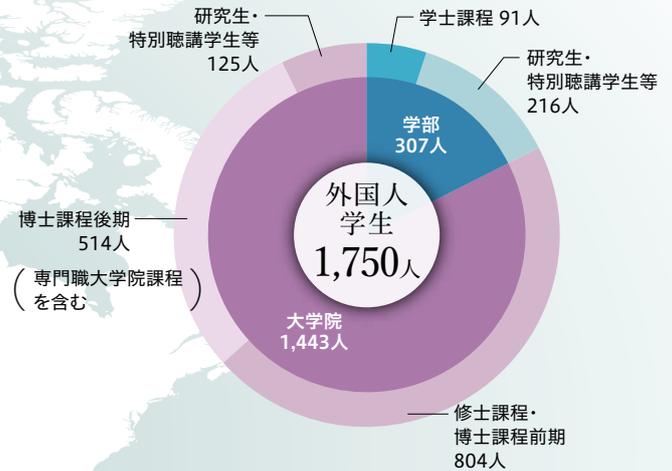
教育学部第三類日本語教育系コース 2年 大野 芽生

広島大学に入学してから中国語を勉強し始め、いくつもの中国派遣プログラムに参加しました。入学前には予想もしていなかったような出会い、発見、学びがあり、留学中は一日一日がとても有意義でした。留学経験をきっかけにさまざまな国際交流活動を積極的に主催したり、参加したりするようになりました。新入生の皆さんも、ぜひ留学に参加して自分だけの発見をしてみてください。

経済学部経済学科 4年 北村 優丞

# パスに学ぶ

広島大学は、世界をキャンパスとする国際的な教育・研究拠点として、世界各地の教育研究機関と交流協定を締結しています。世界中から多数の学生が広島大学に集い、また広島の地から広く世界へ、多くの学生を派遣しています。



- アメリカ合衆国
- カナダ

北米へ  
**75人**  
北米から  
**7人**

- オーストラリア
- ニュージーランド

オセアニアへ  
**230人**  
オセアニアから  
**1人**

中南米へ  
**9人**  
中南米から  
**10人**

- コスタリカ
- コロンビア
- ブラジル
- ペルー
- メキシコ
- ボリビア
- パナマ

## 世界から広大へ

世界63カ国・地域から1,750人を受入(令和2年5月1日現在)

インドネシアから  
日本語と母国語の  
研究を志して広大へ



フランスから  
特別聴講学生として  
広大教育学部へ



2016年にも広島大学に留学したことがあり、日本人学生をはじめ、さまざまな国から来た留学生と交流したり、一緒に暮らしたりする中で、素敵な思い出ができました。広島大学は積極的に異文化交流イベントを開催し、日本人や日本文化と触れ合う機会を提供しています。2018年の秋に大学院生として広島大学に入学し、日本語とインドネシア語の依頼表現を対照研究しています。

文学研究科 博士課程前期 人文学専攻2年  
ZULFIKAR RACHMAN (インドネシア)

フランスで勉強してきた日本語と英語を実践的に使用でき、留学して本当に良かったと思っています。広島での生活には、あっという間に慣れて、大学にもすぐに溶け込みました。授業の面白さはもちろんですが、一番良いのは学生交流の機会がたくさんあることです。大学のイベントや部活を通し、広島大学の学生や、他の留学生とも知り合えたことは、とても良い思い出となるでしょう。

教育学部特別聴講学生  
REY CELINE MARIE AMANDINE (フランス)

学部・研究科ごとに教育目的や目標に沿ったアドミッション・ポリシーを掲げ、学部では一般選抜のほか、個々の意欲や個性を尊重した広島大学光り輝き入試などを実施します。

## 求める学生像／広島大学のアドミッション・ポリシー(学士課程)

広島大学は、次のような人の入学を期待します。

- 1 豊かな心を持ち平和に貢献したい人
- 3 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- 2 知の探究・創造・発展に意欲のある人
- 4 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

各学部・学科などでは、これらの人を受け入れるため、それぞれのディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力や、主体性を持ち多様な人々と協働しながら学習する態度と関連づけて明示し、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

## 学部入試方式

高校生から社会人・中高年層まで、多くの人に広く門戸を開いています。

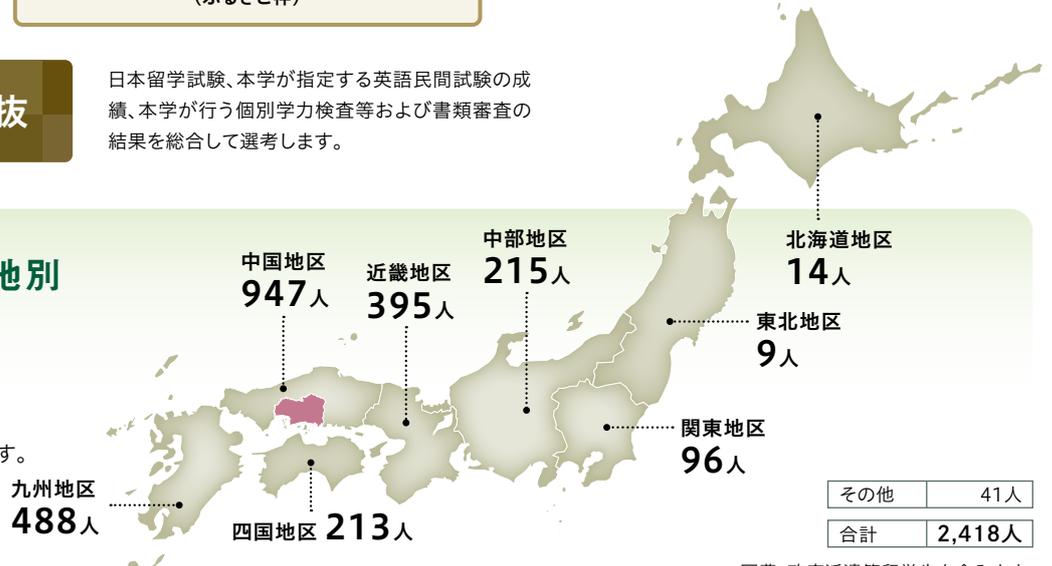


## 3 外国人留学生選抜

日本留学試験、本学が指定する英語民間試験の成績、本学が行う個別学力検査等および書類審査の結果を総合して選考します。

### 出身高等学校所在地別 学部入学者状況 (令和2年度)

全国各地から、確かな学力と豊かな個性を持った学生が集まります。



国費・政府派遣等留学生を含みます。

修学・生活・進路・経済面において、学生のニーズに応える支援体制の充実を図り、学生一人一人が実りあるキャンパスライフを送るためのさまざまなアプローチを用意しています。

## キャリア支援

学部生から大学院生、若手研究者に至るまで、一貫したキャリア支援を目指し、多様なサポート制度を設けています。

### 1年次生から活用できる進路・職業選択支援プログラム

- 学部1年生の必修科目「大学教育入門」での講義
- キャリアガイダンス(教養ゼミ)
- インターンシップ
- キャリア教育科目
- 大学運営支援業務の紹介

### 卒業(修了)前年次生からの就活支援プログラム

- 就職ガイダンス、セミナー
- キャリア相談・就職相談
- 就活支援ツアー
- 進路・就職システム(学生情報の森「もみじ」)による支援
- 就活ハンドブック配布

### 若手研究人材養成支援プログラム

- キャリアおよび能力開発のためのプログラム提供
- 博士人材キャリア相談
- ITシステム「若手研究者ポートフォリオ(HIRAKU-PF)」による支援

## グローバルキャリアデザインセンター

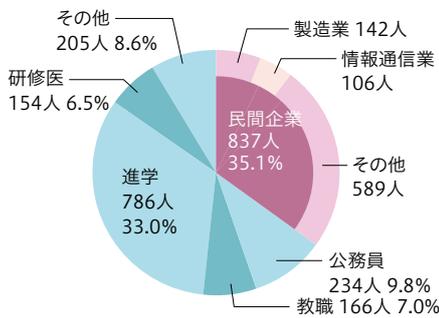
民間企業での人事・採用・教育・海外業務キャリアを持つ教員やアドバイザーなどのスタッフが、各学部・研究科などと連携を図りながら、留学生を含むすべての学生、若手研究者のキャリアデザインや就職活動を総合的にサポートします。



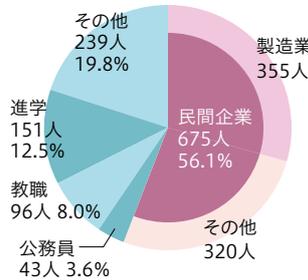
## 就職状況

(令和元年度卒業生・修了生)

### 学部(卒業生数2,382人)



### 大学院(修了者数1,204人)



### 主な就職先

#### ● 企業

マツダ、中国電力、西日本電信電話、マイクロメモリジャパン、広島銀行、三菱電機、日本電気、日本放送協会、東京海上日動火災保険、富士通、TOTO、キヤノン、日本たばこ産業、明治、マイナビ

#### ● 公務員

広島県、広島市、国税庁広島国税庁、経済産業省中国経済産業局、国土交通省中国地方整備局、厚生労働省広島労働局、財務省中国財務局

#### ● 教員

広島県教育委員会、広島市教育委員会、愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、長崎県教育委員会、福岡県教育委員会

## 修学・生活支援

### チューター制

学生一人一人を担当する教員(チューター)を学科・コースごとに複数配置し、入学時から卒業まで、学習や生活の悩みなど、大学生活全般に関するサポートを行います。

### ピアサポートルーム

学生による学生のための相談室です。専門のカウンセラーから指導を受けた学生が学生(ピア)の大学生活上の疑問や悩みについて秘密厳守でじっくりと話を聴きます。必要に応じて学内外の専門機関の紹介も行います。

### アクセシビリティセンター

身体などに障害がある学生の修学サポート、アクセシビリティ(利用しやすさ、参加しやすさ)に関する助言、人材育成を行っています。平成18年より、「アクセシビリティリーダー育成プログラム」を日本で初めてスタート。令和元年度までに本学を含む全国19大学、3企業、2行政から1,792人のアクセシビリティリーダーが誕生しました。

### 保健管理センター

健康相談・身体相談・応急処置や、精神科医と臨床心理士による心の相談を行います。

## 経済支援

### ■ 広島大学フェニックス奨学制度

### ■ 広島大学光り輝く奨学制度

学力が優秀でありながら、経済的理由により大学進学や修学が困難な人を支援するため、独自の制度を設けています。

その他にも、学生が経済事情にかかわらず安心して修学できるよう、さまざまな経済支援制度を整備しています。

### ● 広島大学エクセレントスチューデントスカラシップ

### ● 高等教育修学支援制度

# 社会に開かれ、 社会と 共に発展 する大学へ

総合大学として  
幅広い研究に  
対応する

共同研究 | **365** 件

受託研究 | **271** 件

※研究費が発生していない案件を含みます。 (令和元年度)

共同研究から生まれた商品

## 八朔銘菓 せとこまち

株式会社にしき堂

ハッサクにビタミンCや食物繊維が多く含まれることが調査で判明。ハッサクジャムを求肥(ぎゅうひ)で包み込み、上品な甘さとほのかな苦味がマッチした和菓子です。



研究者

平田 敏文 名誉教授  
矢中 規之 教授  
(大学院統合生命科学研究所)

各種支援事業を展開

## ベンチャー ビジネス 創出支援

累計 **64** 社

(令和2年4月1日現在)

共同研究から生まれた商品

## イータック抗菌化スプレーα

エーザイ株式会社

広島大学で考案されたEtak®(持続型抗菌成分イータック)を主成分とする抗菌化スプレーで、テーブル、衣類などへの使用によりウイルスや菌を寄せつけません。抗菌成分が対象物表面に固定されるため、抗菌作用が、スプレー直後だけでなく1週間持続します。さらに、この結合力は強いので、水拭きしても作用が続きます。



研究者 二川 浩樹 教授 (大学院医系科学研究科)

学内に企業と共同で  
研究拠点を開設  
共同研究講座

# 24 講座

(令和2年4月1日現在)



人をアシストする先進技術

## 動かない手を、自在に動かせる 義手に変えていく

脳からの電気信号をコンピュータが瞬時に判断して、動作を手伝われる義手を作成中。3Dプリンタを活用し、制作期間とコストを圧縮。

研究者

辻 敏夫 教授  
(大学院先進理工系科学研究科)

組織的に連携し、  
研究力を高める  
包括研究協定

# 87 件

(令和2年4月1日現在)



人をアシストする先進技術

## 人の特性に適した学び方を、 すぐ手の届く技術で実践的に提案する

学び方に人をはめ込むのではなく、人の特性に適した学び方を、誰にでも手の届く機器やソフトウェアを組み合わせることで実用的に提案。本学の特別支援教育実践センターで、全国の小中高大学生に対して具体的に提案、指導し、日常生活や学校への導入を後押し中。

研究者

氏間 和仁 准教授  
(大学院人間社会科学研究所)

## 主な産学官 連携事業

「ものづくりのデジタル化」により  
地域レベルでイノベーションを目指す

### デジタルものづくり 教育研究センター

地域において喫緊の課題となっているものづくりのデジタル化に対応するため、モデルベースによる材料研究や制御・生産プロセスのスマート化などに係る研究開発と人材育成を幅広く推進するとともに、地域レベルでイノベーションを実現していく本格的な産学連携システムの構築を目指しています。

脳科学から感性を解き明かす、  
新しい産学官連携の取り組み

### 広島大学 感性イノベーション拠点

地元企業、複数の大学および研究機関と共に、「こころ豊かな社会」の実現のために、最新の脳科学を応用して、人と人、人とものを感性(こころ)で繋ぐBrain Emotion Interface(BEI)の開発を目指しています。これまで客観的に評価することが困難とされていた「ワクワク」「イキイキ」「きれい」などの感性を、BEI技術を用いて可視化(見える化)し、定量化することで、個人の感性やニーズなどに対応した製品、サービスが提供できるようになり、衣、食、住、車、教育、医療など多様な分野において社会の大きな変革が起こると期待しています。

産業と密着!ゲノム編集技術の  
限りない可能性への取り組み

### JST産学共創プラットフォーム 共同研究推進プログラム (OPERA)「ゲノム編集」 産学共創コンソーシアム

バイオ産業、動植物の品質改良、健康・安全、生命科学研究などの分野で革新的な価値創造が見込まれているゲノム編集技術を対象として、基礎研究と応用研究を連続的につなぎます。

気候変動で激甚化する  
『相乗型豪雨災害』に挑む

### 防災・減災研究センター

平成30年7月豪雨災害では土石流や土砂・洪水氾濫が多発し、西日本を中心に200人を超える犠牲者を出し、住宅、水道、道路などにも甚大な被害をもたらしました。当センターでは、クラウドファンディングなどでも資金を集めながら、災害メカニズムの解明に取り組んでいます。行政、企業、地域住民とつながり、災害に強いこれからのまちづくりの支援や人材育成に貢献していきます。

共同研究から生まれた商品

### マイフローラ

野村乳業株式会社

広島大学の研究をもとに開発した新しい“発酵食”です。生きたまま腸に届く植物乳酸菌『ラクトパチルスプラントアルム』が腸内フローラのバランスを安定させるので、1日1杯でおなかスッキリします。

研究者

杉山 政則 名誉教授  
(大学院医系科学研究科)



学内に企業と共同で  
研究所を開設  
外部機関研究所

## 2 研究所

(令和2年4月1日現在)

共同研究から生まれた商品

### ショコラミル

有限会社石の三徳  
有限会社井上石材

御影石を使った石臼のショコラミル。カカオ豆から自分好みのチョコレートが作れる、世界でも珍しい製品です。

研究者

佐藤 清隆 名誉教授  
上野 聡 教授  
(大学院統合生命科学研究所)



蓄積された学術的な知識・情報を提供し、産業界の発展を支援

- 技術相談
- 共同研究
- 研究協力会

技術課題の解決や将来の開発課題への共同研究の実施等の相談を受ける「産学連携総合問い合わせ窓口」を設けています。また、研究協力会を通して、地域産業界へのサービス強化に努めています。研修プログラム、研究助成、企業内講演会なども行っています。

共同研究から生まれた商品

### アルタンNAハンドソープ

アルタン株式会社

カキタンニン(柿渋)の効果で手指を健やかに保つ手洗いせっけんです。きめ細かい泡で手のすみずみの汚れまでしっかり落とし、手指を清浄にします。

研究者

島本 整 教授  
(大学院統合生命科学研究所)

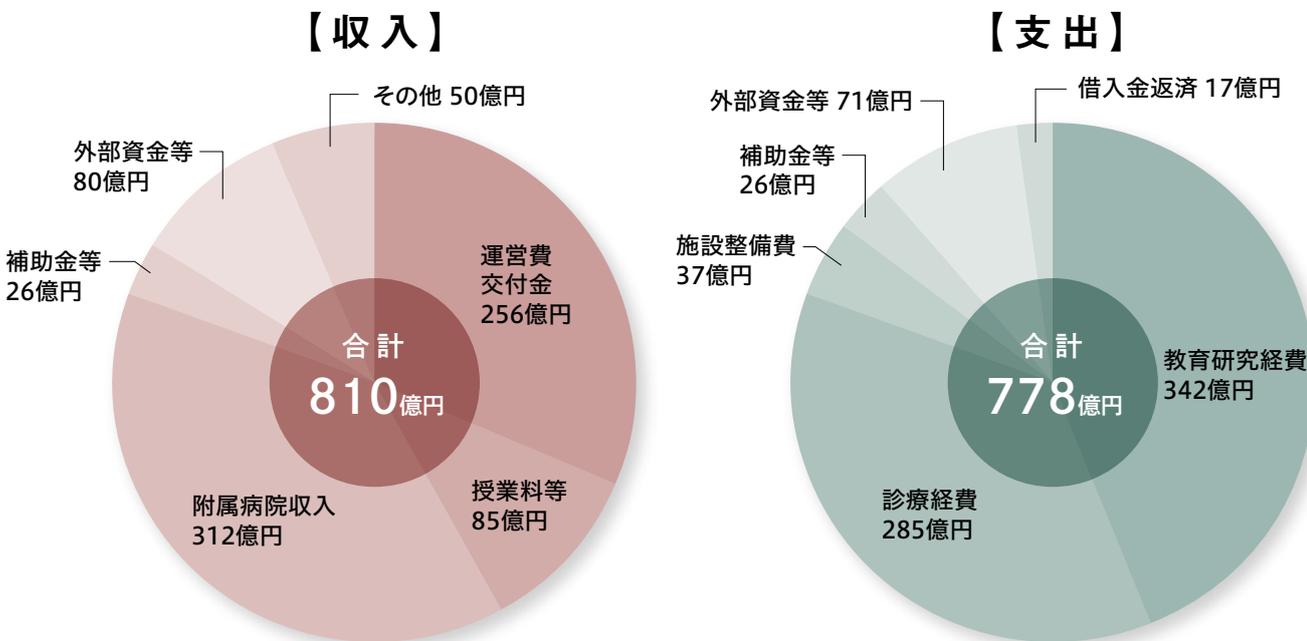
坂口 剛正 教授  
(大学院医系科学研究科)



この他にも、食品・工業製品・医薬品など、多数の商品が誕生しています。

教育・研究活動のさらなる発展を見据え、国から交付される運営費交付金や授業料などを効率的に活用しています。また、各種基金を設立し、学生支援事業などに活用しています。

## 広島大学の収支状況(令和元年度)



※表示単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合があります。

## 基金

広島大学では、経済的な理由を抱える学力優秀者への修学支援や、外国人学生・日本人学生の留学支援などを目的に寄付金制度を設立し、各種事業を展開しています。法人・個人とも寄付金額に応じた税制上の優遇措置があります。また、一定額以上のご寄付をいただいた方のご厚意に対して、顕彰や記念品をご用意しています。

### 「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」(広島大学75+75周年に向けて)がスタートしました。

白鳥学校創立以来、75年の前史を経て開学した広島大学は2024年、創立75周年の節目を迎えます。このたび、「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」(広島大学75+75周年に向けて)を設立し、広島の地にイノベーションを創出させる事業経費に充てるための寄付募集を行うこととしました。従来の学生支援事業や国際交流事業に加えて社会貢献事業、教育研究環境整備事業、研究支援事業の支援も充実させていきます。

### 広島大学基金 (平成19年度創設)

世界トップ100の総合研究大学を目指し、「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育成するために、学生支援事業、研究支援事業を実施しています。

#### 用途① 広島大学フェニックス奨学制度・広島大学光り輝く奨学制度

経済的理由で進学・修学継続が困難な学力優秀者に月額10万円を給付する、本学独自の奨学制度です。

採用者数  
(平成20～令和2年度)  
**112人**

#### 用途② <sup>プラス</sup>STARTプログラム・START+プログラム

STARTプログラムでは海外経験の少ない学部1年次生を、START+プログラムでは学生のより自律的な学習を重視し学部2年次生、3年次生を対象に、海外研修に参加する学生の渡航費や滞在費の一部を支援します。

派遣者数  
(平成22～令和元年度)  
**1,835人**

#### 用途③ 大学院学生のための国際学会発表支援

海外で行われる国際学会で発表する機会を増やすことにより、学生による研究活動の活性化を促進します。

派遣者数  
(平成23～令和元年度)  
**1,817人**

### 広島大学冠事業基金

(平成27年度創設)

ご寄付をいただいた方のご芳名などを冠して、世界をキャンパスとして展開するために留学生・日本人学生を支援する事業を実施しています。

#### 用途① 外国人留学生への奨学金

外国人留学生を数多く受け入れ、グローバルキャンパスを実現するために、渡日前に奨学金の受給が決定する広島大学入学前奨学制度を設けています。

#### 用途② 日本人学生の海外留学支援金

グローバルに活躍できる「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育成するために、日本人学生の海外留学の支援金制度です。

広島大学では、世界のトップ研究者による講演やディスカッション、  
さまざまな分野で活躍中のリーダーによる講義など、学生の意欲を刺激する場を多彩に設けています。

## 広島大学から世界へ ～世界のトップ研究者に聞く～

ノーベル賞受賞者を中心に世界の最先端に行く研究者をお招きし、講演やディスカッションを継続的に開催しています。未来の科学者を目指す学生たちにとって、世界を驚かせた発見や研究を間近に体感できる貴重な機会となっています。

<p>●第1回「知のフォーラム」(2016年3月7日)</p>  <p><b>ジョン・ガードン</b> 博士 英国ケンブリッジ大学 ウエルカムトラスト英国癌研究基金 ガードン研究所教授</p> <p>(2012年 ノーベル生理学・医学賞)</p>	<p>●第3回「知のフォーラム」(2017年4月5日) ●知のフォーラム in Tokyo (2019年1月9日)</p>  <p><b>ポール・ナース</b> 博士 英国フランス・クリック研究所長 Source: Fiona Hanson / AP Images</p> <p>(2001年 ノーベル生理学・医学賞)</p>	<p>●広島大学情報科学部・総合科学部国際共創学科 設置記念講演会 (2018年5月16日)</p>  <p><b>大隅 良典</b> 博士 東京工業大学科学技術創成研究院 荣誉教授</p> <p>(2016年 ノーベル生理学・医学賞)</p>
 <p><b>山中 伸弥</b> 博士 京都大学iPS細胞研究所長</p> <p>(2012年 ノーベル生理学・医学賞)</p>	<p>●第4回「知のフォーラム」(2019年3月11日)</p>  <p><b>天野 浩</b> 博士 名古屋大学 未来材料・システム研究所教授</p> <p>(2014年 ノーベル物理学賞)</p>	<p>●広島大学大学院統合生命科学研究所・大学院医系 科学研究科設置記念講演会 (2019年7月20日)</p>  <p><b>本庶 佑</b> 博士 京都大学高等研究院副院長・特別教授</p> <p>(2018年 ノーベル生理学・医学賞)</p>
<p>●第2回「知のフォーラム」(2016年11月29日)</p>  <p><b>梶田 隆章</b> 博士 東京大学宇宙線研究所長・ 東京大学特別荣誉教授</p> <p>(2015年 ノーベル物理学賞)</p>	<p>●第86回広島大学講演会 (2018年3月27日)</p>  <p><b>ムハマド・ユヌス</b> 博士 グラミン銀行(バングラデシュ) 創立者</p> <p>(2006年 ノーベル平和賞)</p>	<p>●広島大学大学院人間社会科学研究所・大学院先進 理工系科学研究科設置記念講演会 (2020年7月2日)</p>  <p><b>吉野 彰</b> 博士 旭化成株式会社名誉フェロー</p> <p>(2019年 ノーベル化学賞)</p>

## 世界に羽ばたく。教養の力 ～世界で活躍するリーダーに学ぶ～

教養教育の一環としてスポーツ・芸術・科学・ビジネスなど各界で活躍中のリーダーを講師としてお招きし、学部新生を主な対象とする講義を開講しています。各界のトップに立って活躍する講師たちの視点や歩みに触れ、大学生活の目標や将来の夢を考えるスペシャル講義です。

### 《 2017～2020年度講師 》

 <p><b>五百旗頭 真氏</b> 公立大学法人兵庫県立大学 理事長</p>	 <p><b>楠 雄治氏</b> 楽天証券株式会社 代表取締役社長 広島大学文学部卒業</p>	 <p><b>不破 亨氏</b> 湧永製薬株式会社 前取締役副会長</p>
 <p><b>池谷 裕二氏</b> 東京大学 薬学部 教授</p>	 <p><b>高岡 浩三氏</b> ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼CEO</p>	 <p><b>前川 正雄氏</b> 株式会社前川製作所 顧問</p>
 <p><b>池田 晃治氏</b> 広島銀行 代表取締役会長</p>	 <p><b>佃 和夫氏</b> 三菱重工工業株式会社 相談役</p>	 <p><b>松井 一寛氏</b> 広島市長</p>
 <p><b>伊東 豊雄氏</b> 建築家</p>	 <p><b>中丸 三千繪氏</b> オペラ歌手 (マリア・カラス・コンクール優勝)</p>	 <p><b>モーリー・ロバートソン氏</b> 国際ジャーナリスト</p>
 <p><b>井上 康生氏</b> 全日本柔道男子 監督</p>	 <p><b>二宮 清純氏</b> スポーツジャーナリスト</p>	 <p><b>茂木 健一郎氏</b> 脳科学者</p>
 <p><b>上田 宗冨氏</b> 茶道上田宗箇流 家元</p>	 <p><b>野村 謙二郎氏</b> 野球評論家 広島東洋カープ 元監督</p>	 <p><b>矢野 博文氏</b> 株式会社大創産業 会長</p>
 <p><b>小山田 浩子氏</b> 小説家(第150回芥川賞受賞) 広島大学文学部卒業</p>	 <p><b>弘兼 憲史氏</b> 漫画家</p>	 <p><b>山坂 哲郎氏</b> 株式会社バルコム 代表取締役 広島大学教育学部卒業</p>
 <p><b>川淵 三郎氏</b> 日本サッカー協会 キャプテン(相談役) Jリーグ 初代チェアマン</p>	 <p><b>深山 英樹氏</b> 広島商工会議所 会頭 広島ガス株式会社 相談役・名誉会長</p>	 <p><b>湯崎 英彦氏</b> 広島県知事</p>

(五十音順、所属先、役職名等は、講義日時点のものです。)

広島大学が擁する東広島・霞・東千田の3キャンパスには、学部棟・研究科棟の他に、5つの附属図書館をはじめ、さまざまな実験・研究施設や文化・スポーツ施設が揃い、第一線の教育・研究活動が展開されています。

# 東広島キャンパス 東広島市

総合科学部
  文学部
  教育学部
  法学部
  経済学部
  理学部
  工学部
  生物生産学部
  情報科学部

約250万㎡もの広さを持つ東広島キャンパスは、広島県の中央部に位置する東広島市にあります。総合科学部をはじめ、9つの学部と3つの大学院が設置され、広島大学の中心となるキャンパスです。キャンパス内の建物は、North、South、East、Westの4つのゾーンに分かれて配置されています。

至 JR八本松駅

至 JR西条駅



国立大学有数の  
 キャンパス面積を誇る、  
 緑豊かなガーデンユニバーシティ

建物の詳しい配置については、  
ウェブサイトでご確認ください。

広島大学ウェブサイト [交通アクセス](#)

[東広島キャンパス キャンパスマップ](#)





2020年1月より  
広島大学キャンパスを  
全面禁煙としました

受動喫煙防止対策の徹底および禁煙教育の推進等の観点に立ち、2020年1月から本学の全キャンパス内を全面禁煙としました。

詳しい情報はこちらから! >>>

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/initiatives/kinen>



# 霞キャンパス

広島市

■ 医学部 ■ 歯学部 ■ 薬学部

広島市内にある霞キャンパスは、医学部、歯学部、薬学部、大学院医系科学研究科が設置されています。敷地内に広島大学病院や研究施設なども併設され、最先端医療の教育・研究・臨床の情報発信拠点としての役割を担っています。

最先端医療教育の  
研究・臨床の  
情報発信拠点



# 東千田 キャンパス

広島市

■ 法学部 夜間主コース  
■ 経済学部 夜間主コース

東千田キャンパスは広島市内にあり、東広島市への統合移転前に、広島大学が設置されていた場所の一部にあたります。法学部・経済学部夜間主コースの授業に加え、2016年度から新校舎「東千田未来創生センター」で、医学部・歯学部・薬学部学生への教養教育を実施しています。

広島大学の  
歴史が息づく  
学びの拠点





## 福山通運 小丸賑わいパビリオン 〈東広島キャンパス〉

学生のための多目的施設として、2019(令和元)年に完成しました。広島県産の木材をふんだんに用いた室内は、学生の起業活動や集会、自習など、さまざまな用途に活用できます。広島大学では、本施設を「賑わい創出拠点」として位置づけ、学生の修学環境の充実や自発的な活動を支援する場として役立てていきます。この建物は、福山通運株式会社および公益財団法人渋谷育英会の寄贈で、ヤマネホールディングス株式会社が施工しました。



## la place 〈東広島キャンパス〉

フランス語で「広場」を意味する「la place」(ラ・プラス)。天井と壁面から自然光が差し込む明るい店内は、北欧の雰囲気漂うカフェ&ベーカリー。無線LAN対応で、ノートPCやタブレットを持ち込めます。

## 図書館

広島大学図書館は5館で構成され、総蔵書数は約347万冊と、全国有数の規模を誇ります。パソコンからの指示によって本を自動的に取り出せる「自動書庫」も備えています。また江戸時代から現在までの教科書コレクションをはじめ、数多くの貴重な資料を所蔵しています。

### 施設概要(令和2年現在)

図書館名・所在地	面積	閲覧座席数	蔵書冊数	主な蔵書
中央図書館	16,116㎡	992席	約228万冊	人文・社会科学、教育学、自然科学系の図書・雑誌
東図書館				
西図書館				
霞図書館	2,382㎡	327席	約19万冊	医学・歯学・薬学・保健学系の図書・雑誌
東千田図書館	685㎡	81席	約6万冊	法学、経済学の図書・雑誌



中央図書館(東広島キャンパス)



西図書館(東広島キャンパス)



東図書館(東広島キャンパス)



霞図書館(霞キャンパス)



東千田図書館(東千田キャンパス)

### データベース／サービス

新聞記事や雑誌記事検索などの各種データベースをはじめ、映画や音楽、語学学習用ソフトなどの視聴覚資料が利用できます。また学習や研究に必要な資料・情報などの入手を、図書館スタッフがサポートします。

### ライティングセンター

授業の課題やレポートなど、文章の書き方で困った学生の相談に対応しています。文章指導の専門的な研修を受けた大学院生のチューターが、対話やブレインストーミングを通して、より分かりやすい文章を作成できるようにサポート。英語論文の相談も受け付けています。



### 学習支援スペースBIBLA(ビブラ)

グループワークやディスカッション、プレゼンテーションの練習ができるスペースや、インターネット(Wi-Fi)を使って自習ができるスペースなどがあります。自由に使える移動式のホワイトボードや図書資料を広げてもゆったり使える書斎のようなデスクが人気です。また霞図書館のBIBLAは霞キャンパスの学生に限り24時間利用できます。

### 特別コレクション

中央図書館には、特別コレクションとして個人文庫、特別集書、大型コレクション、寄託資料等の貴重な文献を収蔵しています。これらの一部はデジタルコレクションとして電子化して公開しています。



福沢諭吉「学問のすすめ」  
1872(明治5)年



マルクス「資本論」  
第1巻初版本



詳しい情報はこちらから! <https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

日本語版

<https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

英語版

<https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?lang=english>



## サタケメモリアルホール 〈東広島キャンパス〉

大学創立50周年を記念して建設されました。グランドピアノをイメージした外観が美しいホールです。学会などの学術交流をはじめ、音楽や演劇などの芸術活動、地域の方々との交流など、多目的に利用されています。この建物は、株式会社サタケをはじめ同窓生や企業などの寄付により設置されました。



## 学士会館 〈東広島キャンパス〉

学術交流の促進を通して本学における教育研究の発展に資するとともに、本学と地域の方々との学術・文化交流や、本学の構成員および同窓生の親睦・交流に寄与することを目的として設置されました。レストランや会議室、レセプションホール、宿泊施設を備えています。



# 総合博物館 〈東広島キャンパス〉

広島大学総合博物館は、本館を中心にキャンパス内に点在するサテライト館とそれらをつなぐ「発見の小径(東広島キャンパスの広大な敷地を利用した自然散策道)」で構成した、キャンパスまるごと博物館です。常設展示の他に、企画展やフィールドナビ(野外観察会)などのイベントも開催しています。

## 本館

広島大学の紹介や、貴重な化石・剥製、地域の環境や文化に関わる資料を展示する総合博物館の中心施設で、インフォメーションセンターの役割も担っています。



## サテライト館

各学部やセンターの専門的な研究内容を展示・紹介しています。埋蔵文化財調査部門・中央図書館・文学部・理学部・生物生産学部・両生類研究センターの6カ所にあります。



## 発見の小径

四季折々の自然の移り変わりを楽しむとともに、キャンパス内に生息する絶滅危惧種を含む多様な生物や、先史時代以降の多数の遺跡を見ることができます。

## 東千田未来創生センター 〈東千田キャンパス〉



霞キャンパスで学ぶ医療系学部の学生への教養教育の実施とともに、大学間・産業界・自治体等との連携による教育・研究プロジェクト事業を実施することを目的としています。

## リーガル・サービス・センター 〈東千田キャンパス〉



法科大学院の社会貢献の機能を担う部門として、2005(平成17)年に開設し、民事事件についての無料法律相談を毎週1回行っています。

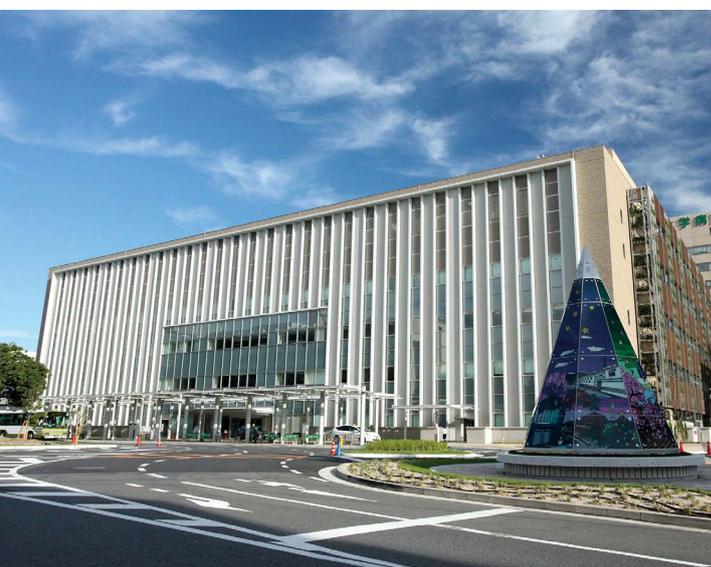
## 医学資料館 〈霞キャンパス〉



戦時中に、広島陸軍兵器補給廠(ほきゅうしょう)の兵器庫として使用されていた旧医学資料館を1999(平成11)年に解体後、ほぼ同じデザインで再建しました。現在の建物には、被爆当時のレンガや石の一部などが再利用されています。

# 病院 〈霞キャンパス〉

広島大学病院は、「全人的医療の実践」「優れた医療人の育成」「新しい医療の探求」を理念に掲げ、中国・四国地域の中核医療機関として、急速な進歩を続ける医学に対応する先進的な医療を提供しています。



## 地元プロチームとの連携

広島東洋カープ、サンフレッチェ広島など、プロスポーツチームの拠点となっている地域性を生かし、これらのチームと積極的に連携しています。新入団選手の体力測定や選手の日常的な健康管理指導などを通して、競技パフォーマンスの向上に貢献しています。



## 災害への対応

災害発生時には、災害派遣医療チーム(DMAT)が出勤し被災地で積極的な医療支援活動を行っています。西日本豪雨災害では、DMATの他、日本医師会災害医療チーム(JMAT)、感染症対策チーム、災害派遣精神医療チーム(DPAT)、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)、災害支援ナースおよび口腔ケアチームが出勤し、医師、看護師を中心に約260人の職員が、被災地で医療支援活動に取り組みました。

詳しい情報はこちらから!



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/>





## 沿革

広島大学は、日本で最も多くの前身校(9校)を持つ大学です。広島高等師範学校(明治35年創設)、広島文理科大学(昭和4年創設)、広島工業専門学校(広島高等工業学校として大正9年創設)、広島高等学校(大正12年創設)、広島女子高等師範学校(広島高等女学校として明治20年創設)、広島師範学校(白島学校として明治7年創設)、広島青年師範学校(広島県実業補習学校教員養成所として大正11年創設)の7校を包括し、広島市立工業専門学校(昭和20年創設)を併合して新制広島大学は誕生しました。昭和28年には、新制広島医科大学(広島県立医学専門学校として昭和20年創設)を併合しました。

1874 (明治7年~)  
●前身諸学校の創設



1945 (昭和20年)  
●広島市に原子爆弾投下



1949 (昭和24年)  
●新制国立大学の1つとして、  
広島大学創設  
(6学部・4分校・1研究所)

1950 (昭和25年)  
●広島大学開学式  
●初代学長の森戸辰男が  
広島大学を「自由で平和な  
一つの大学」にすることを表明

1953 (昭和28年)  
●県立広島医科大学を併合  
●大学院を設置(3研究科)



1956 (昭和31年)  
●広島大学学章を制定

1957 (昭和32年)  
●広島大学歌を制定

1972 (昭和47年)  
●評議会が統合移転を決定



1982 (昭和57年)  
●東広島キャンパス開校



1995 (平成7年)  
●統合移転完了

1999 (平成11年)  
●創立50周年

2002 (平成14年)  
●中国・北京に初の海外拠点を設置



2004 (平成16年)  
●国立大学法人広島大学発足

2006 (平成18年)  
●到達目標型教育プログラムを導入

2010 (平成22年)  
●学生プラザを創設

2016 (平成28年)  
●東千田未来創生センターを創設



2018 (平成30年)  
●情報科学部を設置

2019 (平成31・令和元年)  
●大学院統合生命科学研究科、  
医系科学研究科を設置  
●創立70周年

2020 (令和2年)  
●大学院人間社会科学研究科、  
先進理工系科学研究科を設置



# 100年後にも 世界で光り輝く 大学へ

UNIVERSITY OF WORLD-WIDE REPUTE AND SPLENDOR  
FOR YEARS INTO THE FUTURE



広島大学



TOP GLOBAL  
UNIVERSITY JAPAN



HIROSHIMA UNIVERSITY  
The Program for Promoting the Academic Standard of Hiroshima University

広島大学財務・総務室広報部広報グループ

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL.082-424-6781 FAX.082-424-6040

E-mail [koho@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:koho@office.hiroshima-u.ac.jp)

ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp>



このパンフレットは環境に優しい  
「植物油インキ」を使用しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。